

平成30年度

通 常 総 会 議 案

平成30年5月22日(火) 午後3時

於 グランデ はがくれ

一般社団法人佐賀県建築士会

平成 3 0 年度通常総会次第

- 1 開 会
- 2 開会宣言
- 3 黙 祷
- 4 会長挨拶
- 5 来賓祝辞
- 6 表 彰
- 7 議長選出（定款第 23 条の規定により会長）
- 8 議事録署名人（定款第 27 条第 2 項の規定により議長）
- 9 議 事

審議事項

第 1 号議案 平成 2 9 年度収支決算の承認

報告事項

- （1）平成 2 9 年度事業及び会務の報告
- （2）平成 2 9 年度事業実施の報告
- （3）平成 2 9 年度公益目的支出計画実施の報告
- （4）平成 3 0 年度事業計画の報告
- （5）平成 3 0 年度収支予算の報告

審議事項

第 2 号議案 役員改選の議決

- 10 そ の 他
- 11 閉 会

一般社団法人佐賀県建築士会会長表彰

平成30年度佐賀県建築士会会長表彰者

【個人の部】

氏 名	地 区 士会名	会員年数	功 績
佐藤 秀樹	佐賀東	25 年	平成5年佐賀県建築士会に入会し、25年間在会し現在に至っている。 平成14年からは、青年委員長、平成18年からCPD専攻建築士委員長、平成24年からは本部常務理事として、大役を長期間に亘って務め上げられ、この間、佐賀東地区の会長も兼任し、地区活動にも活躍されている。佐賀県建築士会に寄与した功績は多大である。
佐藤 知司	唐 津	44 年	昭和49年4月に佐賀県建築士会に入会し、唐津地区で平成4年から20年間に亘って地区理事、平成8年から本部理事を4年間歴任した。 この間、唐津地区の運営に参画し、地区基盤の確立はもとより会員の品位資質の向上に努め、永年の経験と豊富な知識を活かして本会発展に寄与した功績は多大である。
藤崎 透	武 雄	44 年	昭和49年4月に佐賀県建築士会に入会し、30年以上に亘って武雄理事を歴任し、武雄地区建築士会の礎を築いた。 特に武雄市のまちづくり集団「まち研武雄」では、中心実務を担うとともに、講演会、研修会を成功裡に推進した。 また、他地区とのまちづくり団体との交流活動を率先して行った。 後輩建築士の指導育成にも尽力した功績は多大である。

井上 敏文	杵 島	38 年	杵島地区建築士会会員として 38 年間在会し、その間、地区会計監事の役職を永年に亘り歴任し、後継者の育成をはじめとして杵島地区発展に寄与した。 また、阪神淡路大震災、熊本地震の際は、被災建築物の応急危険度判定士として、いち早く現地に赴き、被災者救済、被災建築物判定調査に尽力をした。これらの功績は多大である。
有森 民夫	鹿 島	22 年	建築士会在会 22 年以上となり、この間、鹿島地区の役員として 10 年以上の活動を行い、平成 24 年からは、本部理事を 4 年間歴任し、鹿島地区建築士会及び本部建築士会の発展に大いに寄与した功績は多大である。
國廣 英明	鹿 島	24 年	建築士会に入会後、在会 24 年となり、その間、鹿島地区の役員として、10 年以上の多年に亘り鹿島地区発展に尽力され、活躍された功績は多大である。
徳永 誠一郎	鹿 島	23 年	建築士会に入会後、在会 23 年となり、その間、鹿島地区の役員として、10 年以上の活動を行い、鹿島地区発展のために大いに寄与した功績は多大である。

平成30年度佐賀県建築士会会長表彰者

【団体の部】

氏 名	地 区 士会名	会報回数	功 績
鳥栖地区建築士 会広報委員会 広報委員長 井上 真紀子	鳥 栖	32 回目	鳥栖地区建築士会では、毎年2回の会報誌を発行してきており、その内容としては、本会事業、鳥栖地区建築士会事業、各委員会の活動報告、全国大会や各種イベント、行政報告・連絡事項、賛助会員の企業PR等々建築士会に参加し、楽しさが会員に伝わる紙面を心がけ作成している。 その会報誌は、[TOSU ARCHI NEWS LETTER]と称し、会員・賛助会員を中心に配布しており、平成30年度で32回目を迎えている。 会員・賛助会員からは、高い評価を受けており、会員加入及び賛助会員確保に大いに貢献している。このことから、建築士会に寄与した功績は多大である。

第 1 号議案

平成 2 9 年度収支決算の件

第1号議案

一般社団法人 佐賀県建築士会
(様式1-1)

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,415,460	2,958,370	3,457,090
未収金	4,656,115	8,665,800	△ 4,009,685
前払金	0	0	0
流動資産合計	11,071,575	11,624,170	△ 552,595
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
事業積立資産	4,716,275	4,715,277	998
記念事業積立資産	7,887,108	7,885,439	1,669
特定資産合計	12,603,383	12,600,716	2,667
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
不動産(事務局)	477,840	500,356	△ 22,516
電話加入権	10,300	10,300	0
その他の固定資産合計	488,141	510,657	△ 22,516
固定資産合計	13,091,524	13,111,373	△ 19,849
資産合計	24,163,099	24,735,543	△ 572,444
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,524,437	4,833,104	△ 2,308,667
預り金	54,398	17,371	37,027
未払法人税等	81,000	81,000	0
未払消費税等	179,900	624,600	△ 444,700
流動負債合計	2,839,735	5,556,075	△ 2,716,340
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,839,735	5,556,075	△ 2,716,340
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	21,323,364	19,179,468	2,143,896
一般正味財産	21,323,364	19,179,468	2,143,896
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	12,603,383	12,600,716	2,667
正味財産合計	21,323,364	19,179,468	2,143,896
負債及び正味財産合計	24,163,099	24,735,543	△ 572,444

貸 借 対 照 表 内 訳 書

平成 30 年 3 月 31 日 現在

(単位: 円)

科 目	実施事業等会計	その他事業	法人会計	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	359,536	2,060	6,053,864	6,415,460
未収金	14,035	4,526,880	115,200	4,656,115
前払金	0	0	0	0
流動資産合計	373,571	4,528,940	6,169,064	11,071,575
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計	0	0	0	0
(2) 特定資産				
事業積立資産	0	4,716,275	0	4,716,275
記念事業積立資産	0	7,887,108	0	7,887,108
特定資産合計	0	12,603,383	0	12,603,383
(3) その他固定資産				
什器備品	0	0	1	1
不動産(事務局)	0	0	477,840	477,840
電話加入権	0	0	10,300	10,300
その他の固定資産合計	0	0	488,141	488,141
固定資産合計	0	12,603,383	488,141	13,091,524
資産合計	373,571	17,132,323	6,657,205	24,163,099
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	0	2,316,714	207,723	2,524,437
預り金	0	0	54,398	54,398
未払法人税等	0	0	81,000	81,000
未払消費税等	0	0	179,900	179,900
流動負債合計	0	2,316,714	523,021	2,839,735
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	0
負債合計	0	2,316,714	523,021	2,839,735
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2. 一般正味財産				
(2) その他一般正味財産	373,571	14,815,609	6,134,184	21,323,364
一般正味財産	373,571	14,815,609	6,134,184	21,323,364
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	12,603,383	0	12,603,383
正味財産合計	373,571	14,815,609	6,134,184	21,323,364
負債及び正味財産合計	373,571	17,132,323	6,657,205	24,163,099

正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日 から 平成 30 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	111,000	84,000	27,000
正会員受取会費	12,492,000	12,535,200	△43,200
準会員受取会費	459,200	472,000	△12,800
賛助会員受取会費	720,000	690,000	30,000
支部賛助受取会費	34,800	34,800	0
事業収益	1,716,080	2,385,970	△669,890
受講料	2,216,320	2,167,000	49,320
委託金収入	12,790,350	19,666,818	△6,876,468
事務手数料収入	755,134	703,292	51,842
受取民間助成金	200,000	200,000	0
受取利息	2,699	2,686	13
雑収益	552,964	1,133,554	△580,590
経常収益計	32,050,547	40,075,320	△8,024,773
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	5,662,697	5,317,806	344,891
福利厚生費	963,693	946,867	16,826
臨時雇賃金	553,000	233,000	320,000
広告宣伝費	64,334	60,419	3,915
旅費交通費	822,250	949,604	△127,354
通信運搬費	485,883	505,901	△20,018
租税公課	660,748	952,700	△291,952
消耗品費	553,896	785,091	△231,195
機器リース料	625,227	557,627	67,600
図書購入費	78,120	285,346	△207,226
食糧費	227,305	143,970	83,335
印刷製本費	449,975	116,528	333,447
賃借料	790,133	881,562	△91,429
諸謝金	1,121,874	1,205,462	△83,588
委託費	4,702,205	12,912,115	△8,209,910
支払負担金	3,838,060	3,881,030	△42,970
支払助成金	4,602,360	4,876,520	△274,160
渉外費・交際費	175,865	137,794	38,071
会議費	16,100	0	16,100
雑費	1,559,408	1,460,802	98,606

科 目	当年度	前年度	差異
管理費			
給与手当	497,303	842,194	△344,891
福利厚生費	84,639	149,966	△65,327
広告宣伝費	5,666	9,581	△3,915
旅費交通費	176,900	1,133,640	△956,740
通信運搬費	34,223	55,926	△21,703
租税公課	112,352	113,600	△1,248
消耗品費	37,755	101,486	△63,731
機器リース料	54,921	88,321	△33,400
食糧費	56,000	76,800	△20,800
賃借料	55,591	92,726	△37,135
保険料	14,900	25,100	△10,200
渉外費・交際費	60,000	70,000	△10,000
会議費	722,600	763,518	△40,918
減価償却費	22,516	23,576	△1,060
雑費	18,152	81,406	△63,254
経常費用計	29,906,651	39,837,984	△9,931,333
評価損益等調整前当期経常増減額	2,143,896	237,336	1,906,560
特定資産評価損益等			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,143,896	237,336	1,906,560
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,143,896	237,336	1,906,560
一般正味財産期首残高	19,179,468	18,942,132	237,336
一般正味財産期末残高	21,323,364	19,179,468	2,143,896
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	21,323,364	19,179,468	2,143,896

【特記事項】

1. 共通経費は配賦しております。

正味財産増減計算書内訳書

平成 29 年 4 月 1 日 から 平成 30 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	実施事業等 会計	その他事業 (1)	その他事業 (2)	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	0	63,000	0	48,000	111,000
正会員受取会費	0	0	0	12,492,000	12,492,000
準会員受取会費	0	0	0	459,200	459,200
賛助会員受取会費	0	0	0	720,000	720,000
支部賛助受取会費	0	0	0	34,800	34,800
事業収益	0	1,716,080	0	0	1,716,080
受講料	205,000	0	2,011,320	0	2,216,320
委託金収入	4,763,790	0	8,026,560	0	12,790,350
事務手数料収入	0	755,134	0	0	755,134
受取民間助成金	200,000	0	0	0	200,000
受取利息	0	0	0	2,699	2,699
雑収益	201,620	48,959	200,000	102,385	552,964
経常収益計	5,370,410	2,583,173	10,237,880	13,859,084	32,050,547
(2) 経常費用					
事業費					
給与手当	2,237,810	1,395,620	2,029,267		5,662,697
福利厚生費	380,835	237,511	345,347		963,693
臨時雇賃金	376,000	22,000	155,000		553,000
広告宣伝費	25,424	15,854	23,056		64,334
旅費交通費	402,100	420,150	0		822,250
通信運搬費	197,430	137,381	151,072		485,883
租税公課	190,654	92,548	377,546		660,748
消耗品費	177,524	219,423	156,949		553,896
機器リース料	247,079	154,091	224,057		625,227
図書購入費	46,290	31,830	0		78,120
食糧費	109,907	27,288	90,110		227,305
印刷製本費	331,935	92,120	25,920		449,975
賃借料	368,391	155,971	265,771		790,133
諸謝金	605,874	50,000	466,000		1,121,874
委託費	951,927	0	3,750,278		4,702,205
支払負担金	300,000	3,538,060	0		3,838,060
支払助成金	440,000	4,162,360	0		4,602,360
渉外費・交際費	133,404	42,461	0		175,865
会議費	0	16,100	0		16,100
雑費	894,049	589,722	75,637		1,559,408

科 目	実施事業等 会計	その他事業 (1)	その他事業 (2)	法人会計	合計
管理費					
給与手当				497,303	497,303
福利厚生費				84,639	84,639
広告宣伝費				5,666	5,666
旅費交通費				176,900	176,900
通信運搬費				34,223	34,223
租税公課				112,352	112,352
消耗品費				37,755	37,755
機器リース料				54,921	54,921
食糧費				56,000	56,000
賃借料				55,591	55,591
保険料				14,900	14,900
渉外費・交際費				60,000	60,000
会議費				722,600	722,600
減価償却費				22,516	22,516
雑費				18,152	18,152
経常費用計	8,416,633	11,400,490	8,136,010	1,953,518	29,906,651
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,046,223	△8,817,317	2,101,870	11,905,566	2,143,896
特定資産評価損益等					
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△3,046,223	△8,817,317	2,101,870	11,905,566	2,143,896
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産売却益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
固定資産売却損	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,419,794	2,098,965	3,948,735	△9,467,494	0
当期一般正味財産増減額	373,571	△6,718,352	6,050,605	2,438,072	2,143,896
一般正味財産期首残高	1,277,397	6,718,352	8,765,004	2,418,715	19,179,468
一般正味財産期末残高	1,650,968	0	14,815,609	4,856,787	21,323,364
Ⅱ指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
Ⅲ正味財産期末残高	1,650,968	0	14,815,609	4,856,787	21,323,364

【特記事項】

1. 共通経費は配賦しております。

財 産 目 録 平成 30 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金			29,814
	普通預金	県庁支店 0518592		5,767,456
	普通預金	水ヶ江支店 0130394		10,000
	普通預金	県庁支店 1512355		0
	普通預金	県庁支店 1357590		359,536
	普通預金	県庁支店 1478690		2,060
	普通預金	県庁支店 1509863		246,594
	普通預金	県庁支店 1336044		0
	未収金	佐賀市	佐賀市景観賞 委託金残	600,000
	未収金	佐賀県	耐震伝道師 委託金収入	2,306,880
	未収金		定期講習 委託金残	14,035
	未収金	唐津神社	唐津曳山 5 番鯛	1,620,000
	未収金	唐津地区	28年度会費 唐津地区 1 名	14,400
	未収金	唐津地区	唐津地区 29年度会費 7 名	100,800
流動資産合計				11,071,575
(固定資産)				
基本財産				
特定資産	定期預金	県庁支店 1028403	事業積立預金	4,716,275
	定期預金	県庁支店 0215151	記念事業積立預金	5,285,007
	定期預金	県庁支店 1021530	記念事業積立預金	1,001,036
	定期預金	県庁支店 1030580	記念事業積立預金	1,601,065
その他固	建物附属設備			477,840
定資産	器具及び備品			1
	電話加入権			10,300
固定資産合計				13,091,524
資産合計				24,163,099
(流動負債)				
	未払金	多久地区	助成金	168,480
	未払金	社会保険事務所	社会保険料	118,640
	未払金	NTT	電話代	13,216
	未払金	連合会より	誤振込のため返金	6,480
	未払金		危機管理対策、巻尺他 消耗品購入	113,189
	未払金	ASKUL	のり、ガムテープ、ファイルA4 振替伝票	3,387
	未払金	(一社) 佐賀県建築士事務所協会	29年度定期講習 収益折半	545,485
	未払金		会員強化月間11月～3月 新規入会者21人	63,000
	未払金		会員強化月間11月～3月 再入会1名	3,000
	未払金	唐津地区	唐津曳山 5 番鯛	1,455,000
	未払金	支払助成金	唐津地区 28年度会費 1 名	4,320
	未払金	支払助成金	唐津地区 29年度会費 7 名	30,240
	預り金	源泉所得税	事務局 2 名所得税預かり	54,398
	未払法人税等			81,000
	未払消費税等			179,900
流動負債合計				2,839,735
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				2,839,735
正味財産				21,323,364

区分経理の内訳表

会計区分	実施事業等会計										小計
	建築士会 技術セミナー	定期講習 会	公共建築 物セミナー	省エネ講 習会	特 設計 競技	佐賀の木 家まちづ くり	設計競技 費	景観整備 機構	建築士の 日の事業	地域貢献 活動	
(1) 経常収益											
受取入会金											0
正会員受取会費											0
準会員受取会費											0
賛助会員受取会費											0
支部賛助受取会費											0
事業収益											0
受講料	205,000										205,000
委託金収入		1,428,310	519,480	216,000		1,100,000	300,000	1,200,000			4,763,790
事務手数料収入											0
受取民間助成金	100,000								100,000		200,000
受取利息											0
雑収益	1,620									200,000	201,620
経常収益計	306,620	1,428,310	519,480	216,000	0	1,100,000	300,000	1,200,000	100,000	200,000	5,370,410
(2) 経常費用											0
給与手当	192,500	128,333	192,500	192,500	96,250	256,666	248,645	417,083	320,833	192,500	2,237,810
福利厚生費	32,760	21,840	32,760	32,760	16,380	43,680	42,315	70,980	54,600	32,760	380,835
臨時雇賃金	32,000	294,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0	376,000
広告宣伝費	2,187	1,458	2,187	2,187	1,093	2,916	2,825	4,739	3,645	2,187	25,424
旅費交通費	4,000	0	149,960	0	2,800	146,560	5,400	93,380	0	0	402,100
通信運搬費	26,376	19,867	32,008	13,241	6,620	17,655	17,663	28,690	22,069	13,241	197,430
租税公課	7,555	52,426	19,194	8,098	0	40,621	11,169	44,278	0	7,313	190,654
消耗品費	14,608	13,934	18,115	14,608	7,304	19,478	18,869	31,652	24,348	14,608	177,524
機器リース料	21,254	14,169	21,254	21,254	10,627	28,339	27,453	46,051	35,424	21,254	247,079
図書購入費	46,290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,290
食糧費	7,040	27,906	0	0	0	68,900	6,061	0	0	0	109,907
印刷製本費	0	0	3,507	0	0	285,228	0	0	0	43,200	331,935
賃借料	37,478	14,342	117,364	21,514	10,757	35,165	27,788	46,613	35,856	21,514	368,391
諸謝金	59,774	0	48,000	0	10,000	365,100	123,000	0	0	0	605,874
委託費	0	0	0	0	0	0	0	951,927	0	0	951,927
支払負担金	0	0	0	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	240,000	200,000	440,000
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費・交際費	0	0	0	0	10,000	0	123,404	0	0	0	133,404
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	10,099	550,166	21,385	7,021	3,510	227,829	39,239	15,213	11,702	7,885	894,049
経常費用計	493,921	1,138,441	708,234	313,183	175,341	1,838,137	693,831	1,750,606	748,477	556,462	8,416,633
当期経常増減額	△ 187,301	289,869	△ 188,754	△ 97,183	△ 175,341	△ 738,137	△ 393,831	△ 550,606	△ 648,477	△ 356,462	△ 3,046,223

区分経理の内訳表

会計区分	その他事業(1)											小計
	会員強化推進費	会報発行費	図書等頒布	連合会助成金	サポートセンター	地区関係事業	表彰費	登録・閲覧業務	研究集会費	C P D・専攻建築士	危機管理対策	
(1) 経常収益												
受取入会金	63,000											63,000
正会員受取会費												0
準会員受取会費												0
賛助会員受取会費												0
支部賛助受取会費												0
事業収益										1,716,080		1,716,080
受講料												0
委託金収入												0
事務手数料収入								755,134				755,134
受取民間助成金												0
受取利息												0
雑収益	500		47,577					882				48,959
経常収益計	63,500	0	47,577	0	0	0	0	756,016	0	1,716,080	0	2,583,173
(2) 経常費用												0
給与手当	160,416	336,875	16,041	24,062	32,083	160,416	32,083	16,041	24,062	577,500	16,041	1,395,620
福利厚生費	27,300	57,330	2,730	4,095	5,460	27,300	5,460	2,730	4,095	98,281	2,730	237,511
臨時雇賃金	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	12,000	0	22,000
広告宣伝費	1,822	3,828	182	273	364	1,822	364	182	273	6,562	182	15,854
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	2,500	0	417,650	0	0	420,150
通信運搬費	13,904	23,172	1,103	1,655	2,206	11,034	2,206	3,535	1,655	75,808	1,103	137,381
租税公課	18	0	1,739	0	0	0	0	28,043	0	62,748	0	92,548
消耗品費	13,038	25,565	1,217	1,826	2,434	12,174	2,434	1,217	1,826	43,826	113,866	219,423
機器リース料	17,712	37,195	1,771	2,656	3,542	17,712	3,542	1,771	2,656	63,763	1,771	154,091
図書購入費	0	0	31,830	0	0	0	0	0	0	0	0	31,830
食糧費	3,792	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,496	27,288
印刷製本費	0	42,120	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	92,120
賃借料	17,928	37,649	1,792	2,689	3,585	17,928	3,585	1,792	2,689	64,542	1,792	155,971
諸謝金	0	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	3,223,060	255,000	0	0	0	60,000	0	0	3,538,060
支払助成金	45,000	0	0	0	0	3,917,360	0	0	200,000	0	0	4,162,360
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費・交際費	0	0	0	0	0	0	36,461	0	6,000	0	0	42,461
会議費	16,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,100
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	134,213	12,287	5,013	2,605	1,170	18,811	1,370	126,621	44,346	242,161	1,125	589,722
経常費用計	461,243	626,021	63,418	3,262,921	305,844	4,184,557	90,005	181,932	815,252	1,247,191	162,106	11,400,490
当期経常増減額	△ 397,743	△ 626,021	△ 15,841	△ 3,262,921	△ 305,844	△ 4,184,557	△ 90,005	574,084	△ 815,252	468,889	△ 162,106	△ 8,817,317

区分経理の内訳表

会計区分	その他事業(2)								法人会計		合計
	既存住宅 状況調査 技術者講 習会	監理技術 者講習	唐津くん ち	耐震伝道 師	試験業務 委託	違反パト ロール	唐津建物 調査	小計	法人会計	小計	
(1) 経常収益											
受取入会金								0	48,000	48,000	111,000
正会員受取会費								0	12,492,000	12,492,000	12,492,000
準会員受取会費								0	459,200	459,200	459,200
賛助会員受取会費								0	720,000	720,000	720,000
支部賛助受取会費								0	34,800	34,800	34,800
事業収益								0		0	1,716,080
受講料	1,759,320	252,000						2,011,320		0	2,216,320
委託金収入			1,620,000	2,306,880	3,103,920	32,400	963,360	8,026,560		0	12,790,350
事務手数料収入								0		0	755,134
受取民間助成金								0		0	200,000
受取利息								0	2,699	2,699	2,699
雑収益	200,000							200,000	102,385	102,385	552,964
経常収益計	1,959,320	252,000	1,620,000	2,306,880	3,103,920	32,400	963,360	10,237,880	13,859,084	13,859,084	32,050,547
(2) 経常費用								0		0	0
給与手当	160,416	80,208	8,020	256,666	1,475,833	16,041	32,083	2,029,267	497,303	497,303	6,160,000
福利厚生費	27,300	13,650	1,365	43,680	251,162	2,730	5,460	345,347	84,639	84,639	1,048,332
臨時雇賃金	130,000	0	0	0	25,000	0	0	155,000	0	0	553,000
広告宣伝費	1,822	911	91	2,916	16,770	182	364	23,056	5,666	5,666	70,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	176,900	176,900	999,150
通信運搬費	17,506	10,533	551	17,655	101,518	1,103	2,206	151,072	34,223	34,223	520,106
租税公課	71,842	9,214	59,635	85,551	114,695	1,184	35,425	377,546	112,352	112,352	773,100
消耗品費	12,174	6,087	608	21,206	113,223	1,217	2,434	156,949	37,755	37,755	591,651
機器リース料	17,712	8,856	885	28,339	162,952	1,771	3,542	224,057	54,921	54,921	680,148
図書購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78,120
食糧費	8,505	6,080	0	0	75,525	0	0	90,110	56,000	56,000	283,305
印刷製本費	25,920	0	0	0	0	0	0	25,920	0	0	449,975
賃借料	56,908	8,964	896	28,685	164,941	1,792	3,585	265,771	55,591	55,591	845,724
諸謝金	130,000	180,000	0	0	156,000	0	0	466,000	0	0	1,121,874
委託費	0	0	1,455,000	1,476,278	0	30,000	789,000	3,750,278	0	0	4,702,205
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,838,060
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,602,360
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	14,900	14,900	14,900
渉外費・交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000	235,865
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	722,600	722,600	738,700
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	22,516	22,516	22,516
雑費	6,175	2,925	1,156	9,794	53,832	585	1,170	75,637	18,152	18,152	1,577,560
経常費用計	666,280	327,428	1,528,207	1,970,770	2,711,451	56,605	875,269	8,136,010	1,953,518	1,953,518	29,906,651
当期経常増減額	1,293,040	△ 75,428	91,793	336,110	392,469	△ 24,205	88,091	2,101,870	11,905,566	11,905,566	2,143,896

報告事項

(1) 平成29年度事業及び会務の報告

(2) 平成29年度事業実施の報告

(3) 平成29年度公益目的支出計画実施の報告

(4) 平成30年度事業計画の報告

(5) 平成30年度収支予算の報告

平成30年4月23日

一般社団法人佐賀県建築士会
会長 中野 昭則 様

一般社団法人佐賀県建築士会
監 事 濱 進

一般社団法人佐賀県建築士会
監 事 野口 伸守



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行及び公益目的支出計画実施報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

また、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

報告事項 (1)

平成29年度 事業及び会務報告

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

1. 事業報告

年 月 日	事 業 内 容
3.31～4.24	二級・木造建築士試験受験申込書配布 二級学科177名 製図13名 合計192名 木造学科 2名
4.7～5.15	一級建築士試験受験申込書配布 学科114名 製図7名 合計121名
4.17～6.16	建築士定期講習受付 (7/25実施分) 受講申し込み者 165名
4.19	監理技術者講習会 参加者 6名 於 建設会館
4.20～24	二級・木造建築士試験受験申込受付審査 二級学科 93名 製図 3名 合計 96名 木造学科 1名 製図 0名 合計 1名 インターネット受付 二級学科 66名 製図 16名 合計 82名 郵送受付 二級学科 15名 製図 0名 合計 15名
5.11～5.15	一級建築士試験受験申込受付審査 学科51名 製図 1名 合計52名 インターネット受付 学科66名 製図16名 合計82名 郵送受付 学科15名 製図 0名 合計15名
5.17	監理技術者講習会 参加者 8名 於 建設会館
6.16	既存住宅技術者養成 移行講習会 参加者 33名 於 建設会館
6.21	監理技術者講習会 参加者 1名 於 建設会館
6.24	平成29年度九州ブロック「建築士の集い」福岡大会 佐賀東 8 佐賀南 6 佐賀北 5 神埼 2 鳥栖 15 小城 6 唐津 5 伊万里 9 多久 6 武雄 5 杵島 7 鹿島 5 於 久留米市 参加者79名
7.1～	「建築士の日」の事業 講演会、環境美化活動等 実施12地区
7.2	二級建築士「学科の試験」実施 於 佐賀県教育会館 受験者数 116名
7.18	既存住宅技術者養成 新規講習会 参加者 59名 於 佐賀県教育会館

7. 19	監理技術者講習会 参加者 5名 於 建設会館
7. 23	一級・木造建築士「学科の試験」実施 於 佐賀県教育会館 一級受験者数 106名 木造受験者数 1名
7. 25	平成29年度 建築士定期講習 於 佐賀市文化会館 参加者 162名
8. 1～9. 29	建築士定期講習受付（10/26実施分）
8. 16	監理技術者講習会 参加者 2名 於 建設会館
9. 7	佐賀市景観賞 現地視察及び審査会 於 佐賀市 山口常務理事
9. 9	水鏡プロジェクト 於 佐賀市 青年委員会
9. 10	二級建築士 「設計製図の試験」実施 学科から 32名 製図から 16名 於 佐賀県教育会館 受験申込者 48名
9. 20	監理技術者講習会 参加者 6名 於 建設会館
10. 5	耐震伝道師養成講習会 ・158名受講（登録者149名） 於 佐賀市文化会館イベントホール 参加者158名
10. 8	一級建築士 「設計製図の試験」実施 学科から 14名 （実受験者 13名） 製図から 17名 （実受験者 17名） 於 佐賀県教育会館 受験申込者 31名 （実受験者 30名）
10. 16	建築違反防止週間公開パトロール（市委託事業） ・実施区域 佐賀市 パトロール動員者数 3名
10. 18	監理技術者講習会 参加者 1名 於 建設会館
10. 26	平成29年度 建築士定期講習 於 佐賀市文化会館 参加者 98名
10. 26	耐震伝道師派遣 於 佐賀市アバンセ研修室 耐震伝道師2名
11. 5	第25回佐賀県下工業高等学校設計競技入賞作品表彰式 於 どんどんどんの森
11. 15	監理技術者講習会 参加者 1名 於 建設会館

11. 25	女性委員会定例会 「中富記念くすり博物館 御屠蘇教室」 参加者 27名 於 鳥栖市
11. 28	耐震伝道師派遣 於 佐賀市 耐震伝道師2名
12. 1～2. 28	建築士定期講習受付 (3/6実施分)
12. 7	二級建築士試験合格発表 ・合格者 2級:28名 合格率58.33%
12. 8	第60回建築士会連合会「京都大会」 佐賀東6 佐賀南3 佐賀北5 神埼2 鳥栖12 唐津2 伊万里0 武雄6 鹿島0 杵島2 小城6 多久1一般4 連合会会長表彰者 高尾明夫氏 山田俊明氏 於 京都府 参加者 会員49名 一般4名
12. 20	監理技術者講習会 参加者 2名 於 建設会館
12. 21	一級建築士試験合格発表 ・合格者 12名 合格率 10.8%
12. 21	平成29年度 公共建築物木材利用技術セミナー 講演Ⅰ 演題「新しい建築材料CLTと建築設計」 講師:日本CLT協会 業務推進部 次長 有賀康治氏 講演Ⅱ 演題「木造住宅・建築物の坊・耐火設計の解説」 講師:公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 特別研究員 山田誠氏 意見交換会 於 グランデはがくれ 参加者99名
1. 8	総合資格学院合格者祝賀会 出席者 坂口副会長1名 於 鳥栖市
1. 9	佐賀の木・家,リニューアル,まちづくり賞 第1次審査 【応募数】佐賀の木・家賞 9点 リニューアル賞 6点 【一次審査通過】 佐賀の木・家賞5点 リニューアル賞4点 於 建設会館 審査員3名、まちづくり委員長他6名
1. 11	佐賀市景観賞 表彰式 於 佐賀市立図書館
1. 17	監理技術者講習会 参加者 3名 於 建設会館
1. 24	佐賀県建設業協会 新春の集い 於 ホテルニューオータニ佐賀 会長他1名
1. 30	知事との懇談会 於 ホテルニューオータニ佐賀 会長出席
2. 3	拡大協議会 参加者 59名 於 唐津市

2. 9	日建学院 合格者祝賀会 出席者 会長1名 於 佐賀市
2. 13	佐賀の木・家, リニューアル, まちづくり賞 第2次審査 1 日目 建設会館集合→鹿島市→有田町→佐賀市→鳥栖市→建設会館解散 7 件審査 審査員 5 名、会長他 6 名
2. 15	佐賀の木・家, リニューアル, まちづくり賞 第2次審査 2 日目 建設会館集合→唐津市→小城市→建設会館にて審議 2 件審査 審査員 5 名、副委員長他 5 名
2. 21	監理技術者講習会 参加者 5 名 於 建設会館
2. 24	ヘリテージマネージャー協議会 ・岡田三郎助アトリエ見学会 於 佐賀県博物館 委員長他23名
2. 25	平成29年度 一級二級建築士免許証明書交付式 ・一級建築士 11 名 ・二級建築士 20 名 於 建設会館 参加者 会長他10名
3. 1	北陵高校卒業式 会長出席
3. 1	耐震伝道師派遣 於 佐賀市 耐震伝道師2名
3. 6	平成29年度 建築士定期講習 於 佐賀県教育会館 参加者 9 名
3. 6	耐震伝道師派遣 於 唐津市 耐震伝道師2名
3. 8	佐賀の木・家, リニューアル, まちづくり賞 表彰式 【佐賀の木・家、知事賞】 S邸 永遠乃家 【佐賀の木・家賞】 空気室を究めた「杉」のハウス、藍いろの家 【リニューアル賞・知事賞】 G邸 【リニューアル賞】 ギャラリー真十続・異人館、佐賀インターナショナル・ゲストハウスHAGAKURE 【まちづくり賞・知事賞】 幸姫酒造 【まちづくり賞】 「五福の縁結び通り」の事務所 於 佐賀市図書館ホール 審査員5名 会長他6名
3. 13	産業技術学院修了式 会長出席
3. 14	耐震伝道師派遣 於 佐賀市 耐震伝道師2名
3. 14	監理技術者講習会 参加者 2 名 於 建設会館
3. 16	既存住宅技術者養成 新規講習会 参加者 52 名 於 アバンセ
3. 22	建築士会技術研修 参加者 会員25名 非会員3名 於 佐賀県教育会館

2. 会務報告

年 月 日	事 業 内 容
4. 5	既存住宅状況調査技術者講習会 事務局説明会 於 福岡県 出席者 事務局長
4. 11	表彰委員会 1. 平成29年度 佐賀県建築士会会長表彰について 2. 平成29年度 連合会会長表彰について 3. 平成29年度 伝統的技能者表彰について 4. その他 於 建設会館 出席者 会長他6名
4. 12	佐賀市都市デザイン課 平成29年度景観賞打ち合わせ 於 建設会館 出席者 佐藤常務理事他4名
4. 15	九州ブロック 青年女性建築士協議会 於 熊本県阿蘇 出席者 青年委員長他3名
4. 18	平成28年度後期会計監査 ・監事 野口伸守、潤進 於 建設会館 出席者 立会 会長他2名
4. 19	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家・まちづくり賞について 2. 地域貢献活動基金助成募集について 3. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会について 4. 防災部会について 5. 次回委員会について 於 商工ビル 出席者 委員長他5名
4. 20	佐賀の木・家・まちづくり協議会 会計監査 於 佐賀県建設技術支援機構 事務局長
4. 20	佐賀の木・家・まちづくり協議会 幹事会 於 佐賀県建設技術支援機構 出席者 清水理事
4. 21	青年委員会 1. 29年度青年委員会事業計画について 2. 九州ブロック研究集会「建築士の集い」福岡大会について 3. その他 於 商工ビル 委員長他9名
4. 27	既存住宅状況調査技術者講習会 講師養成講習会 於 東京 出席者 犬塚副会長他1名
5. 1	神崎市空家対策協議会 於 神崎市庁舎 出席者 福島

5.2	三役会 1. 組織等 2. 平成28年度 事業及び会務報告について 3. 平成28年度 事業報告について 4. 平成28年度 収支決算の承認について 5. 平成28年度 公益目的支出計画実施報告書について 6. 平成28年度 監査結果報告について 7. 平成29年度 事業計画及び収支予算について 8. 平成29年度 事業計画及び収支予算佐賀県認可書について 9. 理事の選出について 10. 連合会長及び佐賀県建築士会長表彰者の推薦について 於 建設会館 出席者 会長他6名
5.2	総務財務委員会 1. 組織等 2. 平成28年度 事業及び会務報告について 3. 平成28年度 事業報告について 4. 平成28年度 収支決算の承認について 5. 平成28年度 公益目的支出計画実施報告書について 6. 平成28年度 監査結果報告について 7. 平成29年度 事業計画及び収支予算について 8. 平成29年度 事業計画及び収支予算佐賀県認可書について 9. 理事の選出について 10. 連合会長及び佐賀県建築士会長表彰者の推薦について 11. 新規入会者承認について 於 建設会館 出席者 会長他9名
5.9	理事会 1. 議決事項 1. 組織等 2. 平成28年度 事業及び会務報告について 3. 平成28年度 事業報告について 4. 平成28年度 収支決算の承認について 5. 平成28年度 公益目的支出計画実施報告書について 6. 平成28年度 監査結果報告について 7. 役員選任（理事）について 8. 連合会長及び佐賀県建築士会長表彰者の推薦について 9. 新規入会者承認について 2. 報告事項 1. 平成29年度 事業計画及び収支予算について（再掲） 2. 平成29年度 事業計画及び収支予算佐賀県認可書 於 建設会館 出席者 会長他27名

5. 9	平成29年度佐賀の木・家・まちづくり協議会総会 於 グランデはがくれ 出席者 清水理事
5. 10	佐賀県建築住宅課 打合わせ 於 建設会館 出席者 犬塚副会長他1名
5. 18	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 会長他1名
5. 23	青年委員会 1. 29年度青年委員会事業計画について 2. 九州ブロック研究集会「建築士の集い」福岡大会について 3. その他 於 商工ビル 出席者 委員長他11名
5. 23	既存住宅状況調査技術者講習 説明会 於 東京 出席者 事務局長
5. 24	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家・まちづくり賞について 2. 地域貢献活動基金助成募集について 3. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会について 4. 防災部会について 5. 次回委員会について 於 商工ビル 出席者 委員長他4名
5. 24	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 会長
5. 26	三役会 平成29年度通常総会打合せ 於 グランデはがくれ 出席者 会長他6名
5. 26	平成29年度通常総会 表彰者 会長表彰〔個人〕 木村隆次（佐賀東） 畑瀬章（唐津） 東島清司（武雄） 太田繁嗣（鹿島） 水城弘子（鹿島） 議事 第1号議案 平成28年度収支決算の承認 報告事項 (1) 平成28年度事業及び会務の報告 (2) 平成28年度事業実施の報告 (3) 平成28年度公益目的支出計画実施の報告 (4) 平成29年度事業計画の報告 (5) 平成29年度収支予算の報告 第2号議案 役員改選の議決 その他 懇親会 於 グランデはがくれ 出席者49名 委任状 442名

6. 1	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長他 1 名
6. 6	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 佐藤常務理事
6. 6	平成29年度 建設産業団体連合会 総会 於 ホテルニューオータニ佐賀 出席者 会長他1名
6. 7	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長
6. 9	佐賀県建築住宅課 打合わせ 於 建設会館 出席者 事務局長
6. 13	青年委員会 1. 地域実践活動の発表 中間報告（杵島・武雄地区） 2. その他 於 商工ビル 出席者 委員長他10名
6. 14	建築技術委員会 於 東京 出席者 会長
6. 14	佐賀の木・家・まちづくり協議会 幹事会 於 佐賀県建設技術支援機構 出席者 清水理事
6. 17	ヘリテージマネージャー協議会 1. まちづくり地域貢献活動委員長 挨拶 2. 旧知事公舎の調査経緯について 3. 各地区の活動状況 4. 熊本地震文化財ドクター3次調査について 5. 佐賀県歴史的建造物データベースについて 於 旧知事公舎 出席者 犬塚副会長他14名
6. 20	平成29年度 日本建築士会連合会 総会 於 東京 出席者 会長
6. 21	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 佐藤常務理事
6. 23	九州ブロック 平成29年度 総会 於 久留米市 出席者 会長他1名
6. 27	広報委員会 1. 平成29年度事業計画について 2. 各事業の取材等について 於 建設会館 出席者 副会長他7名
6. 27	技術研修委員会 1. 平成29年度事業計画について 2. 技術・研修委員会、事業について 3. 建築士会技術研修について 於 建設会館 出席者 副会長他6名

6. 28	佐賀市景観賞 打合わせ 於 建設会館 出席者 事務局長
6. 29	女性委員会 1. 平成28年度 事業・収支報告について 2. 平成29年度 事業・予算計画について 3. 平成29年度九州ブロック研究集会「建築士の集い 福岡大会」報告 4. 平成29年度 第27回女性建築士連絡協議会（奈良）のご案内 5. その他 於 商工ビル 出席者 委員長他7名
6. 30	唐津・建物調査業務 於 建設会館 出席者 犬塚副会長他 1名
7. 5	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長他 1名
7. 11	三役会 1. 役員等体制について 2. 事務局の体制について 3. 次回の三役会・理事会の開催時期について 4. その他連絡事項 於 建設会館 出席者 会長他5名
7. 11	佐賀市景観賞 打合わせ 於 建設会館 出席者 7名
7. 13	佐賀市景観賞 打合わせ 於 建設会館 出席者 5名
7. 14	耐震伝道師 打合わせ 於 佐賀市文化会館 出席者 会長他5名
7. 15	平成29年度全国女性建築士連絡協議会 於 東京 出席者 女性委員長他2名
7. 20	会員委員会 1. 平成29年度事業について ①会年間行事予定表について ②各地区メールアドレス登録数について ③平成29年度会員増強キャンペーンについて 2. 年度別・地区別会員数の状況及び会員獲得目標設定について 於 建設会館 出席者 会長他7名
7. 31	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長
8. 1	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長
8. 3	耐震伝道師打合せ 於 建設会館 出席者 事務局長他 1名

8.4	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長
8.4	九州ブロック会 事務局長・事務局職員会議 於 鹿児島県 出席者 事務局長他1名
8.7	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長
8.8	県立産業技術学院運営会議 於 産業技術学院 出席者 会長
8.10	唐津・建物調査業務 於 唐津土木事務所 出席者 犬塚副会長他1名
8.10	佐賀県建築士審査会 於 佐賀県庁 出席者 会長
8.23	佐賀の木・家・まちづくり協議会 幹事会 於 佐賀県建設技術支援機構 出席者 清水理事
8.25	耐震伝道師打合せ 於 建設会館 出席者 事務局長他1名
9.7	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家・まちづくり賞について 2. 地域貢献活動基金助成募集について 3. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の事業について 4. 文化財ドクターの事業について 5. 防災まちづくり部会について 6. 福祉まちづくり部会について 7. 耐震伝道師講習会の事業について 於 商工ビル 出席者 委員長他 4名
9.12	理事会 議決事項 1. 臨時三役会の報告について 2. 契約事業について 3. 講習会・研修会について 4. 新規入会者の承認について 5. 本部賛助会員入会の承認について 6. 地域貢献活動基金助成先採択について 6. 佐賀市長候補者推薦書の取り扱いについて 報告事項 1. 事業・会務報告（4月～8月） 2. 平成29年度事業計画及び実施について ・平成29年度各委員会開催状況について 3. 「建築士の日」の事業について 4. 全国大会「京都大会」参加状況について 5. 連合会会長表彰について 6. 会員増強キャンペーンについて 7. メールアドレスの状況について 8. 平成28年度建築士試験状況表について 於 建設会館 出席者 会長他25名

9. 25	耐震伝道師 打合わせ 於 建設会館 出席者 事務局長
9. 29	第25回県下工業高校建築学科設計競技作品審査会 設計課題「我が町の公民館」 応募作品数 163点 佐賀工業高校76点 鳥栖工業高校39点 唐津工業高校38点 北陵高校4点 塩田工業高校6点 入賞者 塩田工業高校（佐賀県知事賞1点 銀賞1点 銅賞1点） 佐賀工業高校（銅賞1点 奨励賞2点） 唐津工業高校（奨励賞1点） 鳥栖工業高校（銀賞1点 銅賞1点 奨励賞1点） 於 建設会館 出席者 後藤審査委員長 他4名
10. 12	九州沖縄設計3団体懇談会セミナー 於 福岡県 出席者 犬塚副会長
10. 20	佐賀県安全住まいづくりサポートセンター理事・支部長会 於 建設会館 出席者 犬塚副会長他9名
10. 24	建築士審査会 於 福岡県 出席者 会長
10. 24	佐賀の木・家・まちづくり協議会 幹事会 於 佐賀県建設技術支援機構 出席者 清水理事
10. 24	女性委員会 1. 第1回定例会「水鏡プロジェクト」報告 2. 平成29年度 第27回女性建築士連絡協議会報告 3. 第2回定例会について（神埼・鳥栖地区担当） 4. 連合会女性委員会より「魅力ある和の空間」ガイドブック作成について 5. その他 於 商工ビル 出席者 委員長他6名
11. 8	会計監査（上半期） 於 建設会館 渕進 野口伸守 立会 会長他2名
11. 10	建築甲子園 審査会 佐賀工業高校 鳥栖工業高校 於 建設会館 出席者 会長他1名
11. 11	九州ブロック青年女性協議会 於 別府市 出席者 青年委員長他3名
11. 22	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家・リニューアル、まちづくり賞について 2. 文化財ドクターの事業について 3. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の事業について 4. 危機管理対策部会について 5. その他 於 商工ビル 出席者 委員長他 6名

11. 27	建築士審査会 於 佐賀市 出席者 会長
12. 1	九州ブロック会長会議 於 宮崎県 出席者 会長
12. 4	会員委員会 1. 会員増強キャンペーン期間について 於 建設会館 出席者 会長他8名
12. 5	佐賀県安全住まいづくりサポートセンター 役員会 於 建設会館 出席者 会長他5名
12. 6	広報委員会 1. 平成29年度事業関係について 2. 各事業の取材等について 於 建設会館 出席者 会長他6名
12. 7	日本建築士会連合会 会長会議 於 京都府 出席者 会長
12. 15	三役会 1. 議題 (1) 契約事業について (2) 講習会・研修会について (3) 新規入会者の承認について (4) 本部賛助会員入会の承認について (5) 中間監査の報告 (6) 知事と各界代表者の懇談会の開催について (7) 共催・後援の承認について 2. 報告、連絡事項 (1) 事業・会務報告（9月～12月分） (2) 平成29年度委員会開催状況について (3) 平成29年度建築士試験状況表について (4) 平成30年度事業計画（案）について (5) 佐賀市長秀島敏行氏お礼状について 3. その他 (1) 日本建築士会連合会への中国四国ブロックからの提言について (提言文書添付) (2) 営繕工事における各工程の適正な施工期間の確保について (国の通知文添付) 於 鳥栖市 出席者 会長他6名
12. 19	佐賀の木・家・まちづくり協議会 幹事会 於 佐賀県建設技術支援機構 出席者 清水理事
12. 27	青年委員会 於 商工ビル 出席者 委員長他10名

1. 9	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家, リニューアル, まちづくり賞について 2. 文化財ドクターの事業について 3. 危機管理対策部会について 4. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の事業について 5. 次年度の事業について 6. 全国まちづくり委員長会議について 於 建設会館 出席者 委員長他 6名
1. 16	理事会 1. 議題 (1) 契約事業について (2) 講習会・研修会について (3) 新規入会者の承認について (4) 本部賛助会員入会の承認について (5) 中間監査の報告 (6) 知事と「佐賀の未来を語ろう 2018」について (7) 鳥栖市における空家等対策に関する協定について (7) 共催・後援の承認について 2. 報告、連絡事項 (1) 事業・会務報告 (9月～12月分) (2) 平成29年度委員会開催状況について (3) 平成29年度建築士試験状況表について (4) 平成30年度事業計画 (案) について (5) 第26回拡大協議会in唐津について (6) 平成29年度事業計画表について 3. その他 (1) 日本建築士会連合会への中国四国ブロックからの提言について (提言文書添付) (2) 営繕工事における各工程の適正な施工期間の確保について (国土交通省の通知文添付) (3) 一級建築士の懲戒処分について 於 建設会館 出席者 会長他28名
1. 26	全国職員会議 於 東京 出席者 事務局1名
2. 3	青年委員会 ・ 拡大協議会 打ち合わせ 於 唐津市 出席者 副会長他10名
2. 5	空き家対策に関する意見交換会 於 佐賀県庁 出席者 会長他 1 名
2. 6	佐賀の木・家・まちづくり協議会 幹事会 於 佐賀県建設技術支援機構 出席者 清水理事

2. 8	建築士審査会 於 熊本県 出席者 会長
2. 15	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家, リニューアル, まちづくり賞について 2. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の事業について 3. 防災部会について 於 建設会館 出席者 委員長他 6名
2. 16	全国まちづくり委員長会議 於 東京 出席者 副委員長他2名
2. 23	危機管理対策部会 ・被災建築物応急危険度判定模擬訓練 於 建設会館 出席者 副委員長他10名
2. 24	まちづくり地域貢献活動委員会 1. 佐賀の木・家, リニューアル, まちづくり賞について 2. 佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の事業について 3. 防災部会について 於 建設会館 出席者 委員長他 7名
2. 26	空家等対策協定締結式 於 鳥栖市 出席者 会長他 1名
2. 27	在宅サポートセンター 於 はればれ 出席者 会長
3. 2	九州ブロック会 会長会議 於 長崎県 出席者 会長
3. 2	女性委員会 1. 第2回定例会「中富くすり博物館 お屠蘇づくり体験」報告 2. 「魅力ある和の空間」物件選定について 3. 来年度の役員について 4. 来年度の定例会について 於 商工ビル 出席者 委員長他7名
3. 2	景観整備機構意見交換会 於 東京 出席者 川崎康広
3. 3	全国青年委員長会議 於 東京 出席者 青年委員長
3. 7	三役会 1. 議題 (1) 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (2) 職員服務規程の一部改正(案)について(施行規則第16条第3項による) (3) 職員の給与改定(案)について(施行規則第16条第2項による) (4) 新会員の承認について (5) 連合会長及び佐賀県建築士会表彰者の推薦について (6) 平成30・31年度各地区理事数(案)について (7) 平成30・31年度各地区理事及び委員会推薦(案)

3.7	(8) 後援の承認について 2 報告事項 (1) 事業・会務報告（12月～3月）について (2) 平成30年度各委員会活動報告について (3) 鳥栖市における空家等対策に関する協定締結について 於 建設会館 出席者 会長他6名
3.23	総務財務委員会 1. 議題 (1) 平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について (2) 職員服務規程の一部改正（案）について（施行規則第16条第3項による） (3) 職員の給与改定（案）について（施行規則第16条第2項による） (4) 新会員の承認について (5) 連合会長及び佐賀県建築士会表彰者の推薦について (6) 平成30・31年度各地区理事数（案）について (7) 平成30・31年度各地区理事及び委員会推薦（案） (8) 後援の承認について 2 報告事項 (1) 事業・会務報告（12月～3月）について (2) 平成30年度各委員会活動報告について (3) 鳥栖市における空家等対策に関する協定締結について 於 建設会館 出席者 会長他9名
3.23	理事会 1. 議題 (1) 平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について (2) 職員服務規程の一部改正（案）について（施行規則第16条第3項による） (3) 職員の給与改定（案）について（施行規則第16条第2項による） (4) 新会員の承認について (5) 連合会長及び佐賀県建築士会表彰者の推薦について (6) 平成30・31年度各地区理事数（案）について (7) 平成30・31年度各地区理事及び委員会推薦（案） (8) 後援の承認について 2 報告事項 (1) 事業・会務報告（12月～3月）について (2) 平成30年度各委員会活動報告について (3) 鳥栖市における空家等対策に関する協定締結について 於 建設会館 出席者 会長他23名
3.28	青年委員会 ・30年度集い発表について 於 商工ビル 出席者 委員長他10名

会 員 数 報 告

平成 30 年 4 月 1 日現在

正会員・準会員

佐賀東	115 (16)	佐賀南	113	佐賀北	109 (3)
神 埼	22 (2)	鳥 栖	87 (5)	小 城	38 (2)
多 久	37	唐 津	149 (9)	伊万里	98 (6)
武 雄	60 (3)	杵 島	33 (5)	鹿 島	58 (1)

計 919名 (準会員52名を含む)

名 誉 会 員 大 串 健 一 山 口 傳

賛 助 会 員 (本部) 33社 (73口)

顧 問 会 員 村 岡 浩 文

相 談 役 本 告 勘 三 郎

本 部 役 員

理 事	35名		
監 事	野 口 伸 守	淵 進	
会 長	中 野 昭 則		
副 会 長	坂 口 義 孝	犬 塚 敏 治	福 母 秀 一
常務理事	山 田 俊 明	佐 藤 秀 樹	山 口 美 由 起

○入会者

39 名

平成30年4月1日現在

地区名	氏 名					計
佐賀東	新川直人	中尾謙史	石田隆造	佐藤孝治	福岡啓司	7
	石崎裕務	江口耀				
佐賀南	牛島英樹	林優介	小田島忍			3
佐賀北	吉岡慶太	小柳美沙紀	勝谷紀子	徳田健太		4
神 埼						0
鳥 栖	川池尚見	大松貴哉				2
小 城	秋丸真樹					1
多 久	陣内圭一					1
唐 津	木上陽介	阿部隆信	鹿嶋司郎	山下正樹	古川文人	11
	松尾英人	松下裕子	伊藤大延	無津呂進	富田典幸 (東より移動)	
	・原将知					
伊万里	藤田ゆかり	波多孝則				2
武 雄	瀧上広満	宮副照平	小池弘之	松尾祐弥		4
杵 島	藤巻翔	野中慎吾				2
鹿 島	堤直弘	高木英臣				2

○退会者

29 名

地区名	氏 名					
佐賀東	小柳勝之	森順子	徳永辰昭	富田興幸 (唐津へ移動)	行徳芳博	5
佐賀南	糸山哲生	徳島雅洋				2
佐賀北	中島孝次	伊藤拓也	井上智映子	佛坂奈美		4
神 埼	中園雄亮					1
鳥 栖	平野年和	宮園一也	天野満			3
小 城	大家辰英	江口和憲				2
多 久	米倉武司	鳥井勝久	上瀧悟			3
唐 津	西村 昇	香月 明	前川勝幸	市丸友和	古家隆弘	5
伊万里	西山 誠					1
武 雄	横山正清					1
杵 島						0
鹿 島	江口貞喜	東明彦				2

○死亡者

2 名

地区名	氏 名	地区名	氏 名
鹿島	岩本秀夫	佐賀北	西野幸則

賛 助 会 員 名 簿

名 称	口数	名 称	口数
松尾建設(株)	10	前田建設工業(株)	2
(株)中野建設	5	(有)佐賀検査サービス	1
大西工業(株)	3	(株)副島金物	1
(株)九電工 佐賀支店	3	竹下建材店	1
黒木建設(株)	3	(株)電興社	1
(株)佐電工	3	(株)永池	1
上滝建設(株)	3	山口産業(株)	1
(株)中島工務店	3	(株)やましげ	1
東島電気工事(株)	3	YKK AP(株)佐賀支店	1
(株)福岡商店	3	亀屋硝子 (株)	1
(株)ウチダ	2	ジャパンホームシールド㈱	1
唐津土建工業(株)	2	(株)建築資料研究社 佐賀支店	2
高田電機(株)	2	総合資格学院 佐賀校	5
㈱大洋建設	3	ケイミュー㈱九州営業開発室	1
(公財)佐賀県建設技術支援機構	1	ジャパンパイル㈱佐賀営業所	1
㈱創新	1	㈱樹積算	1
(有)トップ消毒	1	以上 33社	73口

報告事項（２）

平成29年度事業実施報告

建築士の資質の維持・向上に取り組み、建築士会の財政健全化に努め、公共に資する活動を行い、建築士の社会的評価を高めるとともに社会的貢献を進める事業を以下のとおり行ないました。

１ 組織に関する事業

（１） 組織の強化に関する事業

① 会員増強

★事業遂行の取り組み

平成29年度は、平成29年11月1日から平成30年3月31日の5ヶ月を会員増強キャンペーン期間とし会員増強に取り組んだ。期間中、入会者は入会金を無料とした。（建築士資格合格発表が12月に行われ、免許証交付式が2月25日に行われるため）又、地区内で開催される士会活動の際には、会員以外の方々にも声かけを行い参加協力を依頼した。

★事業遂行の効果

新規入会39名、（再入会2名を含む。）があり、会員増強キャンペーンの一定の効果はあった。

特に2月25日の免許証交付式の際は、役員、会員委員、青年委員長からの積極的な勧誘の中で、多くの新規入会者を確保できた。今後も、さらに多くの会員入会につながるよう、組織的に取り組みたい。

※平成29年4月1日正会員866名・準会員47名⇒平成30年3月31日正会員867名・準会員52名

② 青年建築士、女性建築士の組織の強化

★事業遂行の取り組み

青年・女性建築士交流会、講習会、水鏡プロジェクト、鳥栖地区見学会等の開催及び唐津での拡大協議会への積極的な参加を募った。また、建築士の集い福岡大会は青年・女性委員会を中心に参加した。

★事業遂行の効果

各事業の開催や参加要請に対し、各地区から青年委員、女性委員が積極的に参加した。
○九州ブロック研究集会及び全国女性建築士連絡協議会に青年、女性委員会から8名の参加。

○青年建築士

・定例会第1回～第6回開催 各時期の計画や活動を報告し、その後、総括を行った。
参加者延べ66名

○女性建築士

・第1回定例会 平成29年6月29日「28年度事業、決算報告・29年度事業、予算計画等」商工ビル
参加者8名

- ・佐賀三地区開催の「水鏡プロジェクト」との共催事業。

平成 29 年 8 月 6 日「灯明製作」

平成 29 年 8 月 19 日「灯明づくりワークショップ」

平成 29 年 9 月 9 日「水鏡プロジェクト」 参加者延べ 24 名

※ 市民や子供たちとの交流の中で建築士会の PR と情報発信ができた。

- ・第 2 回定例会 平成 29 年 10 月 24 日「事業の報告と研修会の開催等」商工ビル

参加者 21 名

- ・研修会 平成 29 年 11 月 25 日「くすり博物館建物探求及びお屠蘇作り
ワークショップ」神埼地区・鳥栖地区担当 参加者 27 名

- ・第 3 回定例会 平成 30 年 3 月 2 日「事業報告、魅力ある和の空間検討、平成 30 年度の対応等」 参加者 8 名

○青年・女性建築士

- ・九州ブロック研究集会「建築士の集い」福岡大会 平成 29 年 6 月 24 日

参加者 79 名

- ・第 26 回拡大協議会 「唐津の文化 継承と保存～未来へつなぐ～」

平成 30 年 2 月 3 日 唐津市

参加者 59 名

各地区からの積極的な参加があった。情報の共有化、青年・女性建築士同士の連帯感・技術の向上につながった。建築士の集いの分科会の発表では、青年及び女性建築士の一致団結・コミュニケーションに繋がり、さらに強い絆が築けた。今後、現役世代減少もあり、更なる強化に努めたい。

③ 賛助会員の拡大

★事業遂行の取り組み

市民も含めた会員以外への各種講習会、建築士会の事業、親睦事業への参加呼びかけ及び新規入会勧誘。又、研修会・総会後の懇親会で新規入会の要請を行った。

★事業遂行の効果

士会主催の各種講習会への参加メリット(CPD 等)の理解による参加継続につながった。各地区親睦事業であるペタンク、ゴルフ、ボーリング、ソフトボール等の大会参加を通じて、賛助会員及び建築士会員との交流並びに親睦につながり、企業協賛等の協力もいただけた。

今後は、新会員の入会促進と現会員の退会防止に努める。

※・本部賛助会員数 入会 【4 増(樹積算 1 口、樹創新 1 口、ジャパンパイル樹佐賀営業所 1 口、樹トップ消毒 1 口)】

- ・地区別賛助会員数 (H29 年度名簿作成時現在)

本部 (33 社 73 口)、佐賀 (22 社)、神埼 (0) 鳥栖 (30 社)、小城 (14 社)、多久 (18 社) 唐津 (51 社)、伊万里 (19 社)、武雄 (30 社)、杵島 (0)、鹿島 (10 社)

(2) 新公益法人会計基準への適格な対応

★事業遂行の取り組み

新公益法人（一般社団法人）に則った会計基準での決算を行った。

★事業遂行の効果

平成 27 年度、平成 28 年度、平成 29 年度と三期連続の黒字で決算することができた。
既存住宅状況調査技術者講習会等の新規事業の開催と受託事業等の増により、収入増が図れた。今後も継続して、財政健全化の実現に努めたい。

(3) 会員相互の親睦推進

★事業遂行の取り組み

連合会、九州ブロック、佐賀県、各地区における親睦事業の開催及び参加要請を行った。

★事業遂行の効果

全国大会京都大会、九州ブロック研究集会「建築士の集い」福岡大会、拡大協議会 in 唐津、各地区総会・研修会・親睦事業（ゴルフ、ボーリング、ソフトボール大会等）・建築士の日事業等において、各県・各地区会員相互の交流並びに親睦推進につながった。

2 建築士制度等に関わる事業

(1) 建築士法改正関連の政省令への対応

★事業遂行の取り組み

平成 29 年度も建築士法及び建築基準法の大規模な改正はなかったが、その都度、関連法令を含めた法の改正に対して会員への啓発を行った。

★事業遂行の効果

建築士会のホームページや会員への会報誌等で法改正の啓発、周知に努めた。

(2) 建築士の登録・閲覧等事務の適正、円滑な実施

★事業遂行の取り組み

平成 25 年 10 月 1 日から二級・木造の登録業務を行っている。

また、一級登録業務も連合会からの依頼により、登録書類等を連合会へ送付した。

★事業遂行の効果

一級・二級・木造・ともに登録業務は順調に推移し、免許証明書交付も適正に行った。

(3) 専攻建築士制度の普及・定着化及び社会的活用の推進

★事業遂行の取り組み

ホームページ告知による普及活動

更新時期の会員に対してその旨の通知を行い、引き続き更新をお願いした。

★事業遂行の効果

冊子配布等により制度の周知や普及を進めている。さらに、連合会では、一般市民等社会への PR 及び行政機関への積極的活用へ向けた運動、他団体との連携及び専攻建築士

のホームページを刷新し、自らの詳細なポートフォリオを作成しその専門性のPRが出来るほか、専門領域が更に活かされるよう、制度の周知・普及に努めた。

また、建築行政に有効に活用いただくため、ブロック単位ごとの専攻建築士登録名簿の各自治体等への提供について検討を行った。

(4) 建築士免許証等の提示義務化によるカードの作成業務推進

★事業遂行の取り組み

平成27年6月25日に施行された建築士法改正により委託者からの求めに応じ建築士免許証または建築士免許証明書の提示が義務化された。このことから、携帯が可能なカード型免許証明書へのシフト推進を行った。

★事業遂行の効果

各建築士に対して、カード掲示の義務化とカード作製PRリーフレットを配布した。

平成29年度のカードへの変更者数

一級 15名 二級 9名 計 24名

3 継続能力開発（CPD）に関わる事業

(1) 全建築士を対象とした継続能力開発の推進

★事業遂行の取り組み

ホームページ告知による普及活動及び研修会、講習会のダイレクトメールでの啓発推進を行った。

★事業遂行の効果

毎年、確実に普及し登録増になってきた。H29(会員21名増)(非会員22名増)

(2) 行政及び他団体との協力体制の確立

★事業遂行の取り組み

佐賀県へCPD活用方策の働きかけを行った。

★事業遂行の効果

建築工事等入札参加資格審査の企業内技術者取得単位数の要件として採用している。

(県建設技術課)

建築物の設計及び監理業務委託について指名競争入札を行う場合(1千万円未満の委託業務)に業務能力によって格付けした「設計等委託候補者評価名簿」の中から業務評価に応じて指名している。(県建築住宅課)

- ・CPDの取得実績は、この「設計等委託候補者評価名簿」を作成する際(2年に1度)の評価要素の一つとして活用。
- ・CPDに関する評価点は、過去1年間の所員の推奨単位の取得者の人数に応じて加算している。

このことから、CPDは業務評価に反映され、一定の効果が出てきた。

4 建築士の資質向上

(1) 建築士に課せられる定期講習会の開催

★事業遂行の取り組み

平成 29 年度は、(一社) 佐賀県建築士会が 3 回開催した。

★事業遂行の効果

第 1 回

開催期日：平成 29 年 7 月 25 日 (火)

開催場所：佐賀市文化会館

受講者数：155 名

第 2 回

開催期日：平成 29 年 10 月 26 日 (木)

開催場所：佐賀市文化会館

受講者数：98 名

第 3 回

開催期日：平成 30 年 3 月 6 日 (火)

開催場所：佐賀県教育会館

受講者数：9 名

受講者数合計 262 名

(2) 法制度改正に伴う講習会の開催

★事業遂行の取り組み

建築基準法の改正講習会や建築士法改正講習会等の改正はなかったが、国、県市町からの通知文や説明会をホームページやチラシ配布により会員建築士に受講を促した。

★事業遂行の効果

会員への法制度改正等を周知、啓発し、建築士の資質向上を図った。

(3) 建築士を対象とした技術等講習会、後援会の開催

★事業遂行の取り組み

「公共建築物木材利用セミナー」平成 29 年 12 月 21 日 (木)

グランデはがくれ

「建築士会技術研修」平成 30 年 3 月 22 日 (木)

佐賀県教育会館

「第 21 回佐賀市景観賞」・「SAGA 建設技術フェア 2018」等を後援した。

★事業遂行の効果

「公共建築物木材利用セミナー」平成 29 年 12 月 21 日 (木)

受講者 99 名

「建築士会技術研修」平成 30 年 3 月 22 日 (木)

受講者 28 名 (会員：25 名、非会員 3 名)

・後援した各イベントは盛況に終了し、建築士会も PR することができた。

(4) 建築施工従事者の「監理技術者講習会」開催

★事業遂行の取り組み

「監理技術者講習」毎月第三水曜日開催

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月まで 12 ヶ月開催

建設会館大会議室

★事業遂行の効果

受講者の増加が課題。後発の講習のため、多くの建築施工従事者にダイレクトメールで周知啓発を行ったが、受講者の確保に苦慮した。今後とも、講習会の周知啓発を図るとともに、該当者の確保に努めたい。

「監理技術者講習」毎月第三水曜日

受講者 42 名

(5) 会員の「既存住宅状況調査技術者講習会」開催

★事業遂行の取り組み

宅建業法の改正により平成 30 年 4 月から既存住宅の売買時に行われる重要事項説明の既存住宅状況調査を実施できる技術者を養成する講習会を 3 回開催した。

★事業遂行の効果

「既存住宅状況調査技術者移行講習会」平成 29 年 6 月 16 日（金）

建設会館 受講者 33 名

「既存住宅状況調査技術者新規講習会」平成 29 年 7 月 18 日（火）

建設会館 受講者 59 名

「既存住宅状況調査技術者新規講習会」平成 30 年 3 月 16 日（金）

建設会館 受講者 52 名

受講者合計 144 名

※連合会での講習受講者数 13,080 人・佐賀県 144 名

5 表 彰

(1) 国家褒章、国土交通大臣表彰、知事表彰、連合会表彰

★事業遂行の取り組み

平成 29 年度表彰委員会を 1 回開催し、表彰者の推薦等を行った。

連合会会長表彰推薦 2 名

★事業遂行の効果

・平成 29 年 12 月 8 日第 60 回建築士全国大会京都大会において 2 名の方が連合会会長表彰を受賞された。

(2) 士会、功労者及び永年会員表彰

★事業遂行の取り組み

建築士会会長推薦 個人 5 名

★事業遂行の効果

・平成 29 年度佐賀県建築士会総会において個人 5 名を表彰した。

6 広報、情報に関する事業

(1) 連合会、情報ネットワークの活用

★事業遂行の取り組み

広報委員会との協力による定期的なホームページの更新及び連合会、士会内外の情報・広報の提供を会員に行なった。

★事業遂行の効果

連合会、建築士会内外の情報・広報のスピーディーな伝達並びに他組織とのコミュニケーションにもつながった。

今後とも、電子媒体（インターネット、電子メール等）を利用した情報伝達、広報の運営を継続、拡大し、組織活動の効率化・迅速化につなげていく。

(2) 会報誌の発行（ホームページ掲載）

★事業遂行の取り組み

- ・佐賀建築士会報をホームページのブログで発行した。
- ・建築士会の会員活動をブログに掲載し、情報提供を行った。

★事業遂行の効果

- ・会報誌をブログに掲載するとともに、会員への情報提供を行った。

(3) 会員名簿の発行

★事業遂行の取り組み

- ・会員名簿は、2年毎に発行しており、平成29年度は発行しなかった。

★事業遂行の効果

- ・平成29年度は、会員名簿は発行しなかったが、本部からの案内はがき等による会員データ（メールアドレス）の整備を充実させた。

7 会員活動に関する事業

(1) 建築士集会への参加

★事業遂行の取り組み

- ・全国大会京都大会は、本部からの要請や地区の活動の中で対応した。

（平成29年12月8日開催）

- ・建築士の集いは、福岡大会の広報及び情報発信並びに募集を行った。

（平成29年6月24日開催）

★事業遂行の効果

- ・全国大会京都大会には、49名の会員が参加した。
- ・建築士の集い福岡大会には、全体670名うち佐賀県79名が参加した。

(2) ドライクリーニング工場に対する実態調査への対応

★事業遂行の取り組み

- ・（一社）新・建築士制度普及協会から（一財）日本建築防災協会に実施事業体に変更された。

この調査は、行政・ドライクリーニング業者から調査依頼がきたら、零細事業者の条件を確認し、対象物件を確認、事前登録を行い、実態調査行う事業であるが、平成 29 年度は調査依頼なし。

★事業遂行の効果

- ・業務実績なし。

(3) 青年建築士、女性建築士の事業の推進

★事業遂行の取り組み

〔青年〕 会員拡大の取り組み（免許交付式での PR）

拡大協議会の開催

- ・ 第 26 回拡大協議会 in 唐津「唐津の文化 継承と保存～未来へつなぐ～」

開催日時：平成 30 年 2 月 3 日（土）13：30～17：30

場 所：旧大島邸、唐津城修復現場見学、唐津くんち曳山修復現場見学、唐津市内散策

〔女性〕 定例会・・・平成 29 年度 3 回開催

- ・「水鏡プロジェクト」との共催事業。

平成 29 年 8 月 6 日「灯明製作」

平成 29 年 8 月 19 日「灯明づくりワークショップ」

平成 29 年 9 月 9 日「水鏡プロジェクト」

- ・ 研修会 平成 29 年 11 月 25 日「くすり博物館建物探求及びお屠蘇作りワークショップ」神埼・鳥栖地区担当

★事業遂行の効果

- ・〔青年〕 免許交付式後の新規入会者 10 名
- ・〔青年〕 拡大協議会の参加者数 59 名
- ・〔女性〕 第 1 回定例会 平成 29 年 6 月 29 日「28 年度事業、決算報告・29 年度事業、予算計画等」商工ビル 参加者 8 名
- ・〔女性〕 佐賀三地区開催の「水鏡プロジェクト」との共催事業。
平成 29 年 8 月 6 日「灯明製作」
平成 29 年 8 月 19 日「灯明づくりワークショップ」
平成 29 年 9 月 9 日「水鏡プロジェクト」 参加者延べ 24 名

※ 市民や子供たちとの交流の中で建築士会の PR と情報発信ができた。

- ・〔女性〕 第 2 回定例会 平成 29 年 10 月 24 日「事業の報告と研修会の開催等」
商工ビル 参加者 21 名
- ・〔女性〕 研修会 平成 29 年 11 月 25 日「くすり博物館建物探求及びお屠蘇作り
ワークショップ」神埼地区・鳥栖地区担当
参加者 27 名
- ・〔女性〕 第 3 回定例会 平成 30 年 3 月 2 日「事業報告、魅力ある和の空間検討、平成

各地区からの積極的な参加があった。情報の共有化、青年・女性建築士同士の連帯感・技術の向上につながった。建築士の集いの分科会の発表では、青年及び女性建築士の一致団結・コミュニケーションに繋がり、さらに強い絆が築けた。今後、現役世代減少もあり、更なる強化に努めたい。

(4) まちづくり情報交流等の推進

★事業遂行の取り組み

(一社) 佐賀県建築士会は佐賀県、佐賀市から景観整備機構の指定を受け、これまで景観まちづくりに関する取組を行ってきた。

平成 29 年度は、佐賀市の委託による佐賀市景観形成啓発事業支援業務を実施した。

対象者：会員及び一般市民

募集期間：平成 29 年 5 月 15 日～平成 29 年 7 月 15 日

〔表彰式及び講演会〕

日 時：平成 30 年 1 月 11 日

場 所：佐賀市（佐賀市立図書館 多目的ホール）

★事業遂行の効果

佐賀市と連携し、講演会、受賞作品表彰、パネル展示等を開催することで、建物景観を含め、市民へのアピールが図れた。

応募総数 249 件、作品総数 197 件 3 件を表彰した。

(5) 見学会及び研修会の開催

★事業遂行の取り組み

「危機管理対策部会」

開催日時：平成 30 年 2 月 23 日（金）16：00～19：30 参加者 10 名

行政担当課と災害担当者及び応急危険度判定士との意見交換を行う中で、何時起こるか分からない震災に対する対応を検討した。

また、震災時の行政との連携や協定を模索した。

★事業遂行の効果

行政との活発な意見交換や会員同士の連携が図れた。

(6) 建築士の日「7 月 1 日」行事の推進

★事業遂行の取り組み

各地区において各々地域の実情や特性を活かした活動、記念事業を開催した。

★事業遂行の効果

地区の中で建築士会の広報やアピールを展開した。

- ・佐賀 3 地区 水鏡プロジェクト
- ・神埼地区 吉野ヶ里公園周辺清掃活動
- ・鳥栖地区 ちびっ子大工さん塾（みどりヶ丘保育園）

- ・小城地区 旧千代雀酒造現状調査
- ・多久地区 温泉保養施設「TAQUA」建築現場見学会
- ・唐津地区 唐津市虹の松原清掃活動
- ・伊万里地区 「ウインドーディスプレイ甲子園」見学及び清掃活動
- ・武雄地区 武雄市役所新築工事現場の見学会
- ・杵島地区 ふくどみマイランド公園清掃美化活動
- ・鹿島地区 建築士会の活動 DVD 放映、伝建地区内の修理・保存の見学及び説明会、体験作業、塩田工業建築科 2 年生との交流

(7) 佐賀の建物研究（価値ある建物の調査の保存と記録）

★事業遂行の取り組み

- ・旧佐賀県知事公舎の調査、見学、意見交換の開催。
- ・まちづくり地域貢献活動委員会及びヘリテージマネージャー協議会において岡田三郎助アトリエ復原工事見学会を行なった。

★事業遂行の効果

- ・旧知事公舎の保存及び活用について意見交換を行った。

平成 29 年 6 月 17 日（土） 参加者 15 名

- ・岡田三郎助のアトリエが県立博物館横に復原移築されたのを機に、明治 41 年ごろに建設された、木造の洋風建築を県の担当者や施工者の解説を交えて見学会を実施した。

平成 30 年 2 月 24 日（土） 見学者 24 名

(8) 地区事業に対する協賛及び助成

★事業遂行の取り組み

入会金・会費徴収事務に対し、助成をした。（入会金 2/3 会費 3.0/10）

★事業遂行の効果

地区運営費の一助になった。

(9) 建築士賠償責任保障制度の P R

★事業遂行の取り組み

- ・会員に対してパンフレットを配布した。

★事業遂行の効果

- ・会員に対して周知啓発を行った。

(10) 建築士工事賠償責任保障制度の P R

★事業遂行の取り組み

- ・会員に対してパンフレットを配布した。

★事業遂行の効果

- ・会員に対して周知啓発を行った。

(11) 住宅瑕疵担保履行制度の P R

★事業遂行の取り組み

- ・会員に対してパンフレットを配布した。

★事業遂行の効果

- ・会員に対して周知啓発を行った。

(12) 地域貢献活動センターの事業推進

★事業遂行の取り組み

まちづくり活動団体を支援するため、助成対象活動団体を募集した。

★事業遂行の効果

下記1団体に助成した。

- ・NPO からつへりテージ機構（200,000円）

唐津の歴史遺産（建造物）の活用例を紹介するホームページの充実と唐津建築遺産MAPの制作を行い市民へ配布することによって歴史遺産〔建造物〕の普及・啓発を行った。

(13) 景観整備機構活動の事業推進

★事業遂行の取り組み

- ・佐賀市建設部都市デザイン課・・・佐賀市景観形成啓発事業支援業務委託

委託期間：平成29年4月14日～平成30年3月20日

委託料：¥1,200,000-

★事業遂行の効果

佐賀市からの受託事業はすべて完了した。

8 行政、関係団体との協力事業

(1) 国及び地方公共団体、関係団体への協力及び事業の受託業務の推進

★事業遂行の取り組み

- ・佐賀県知事との懇談会〔平成30年1月30日：ホテルニューオータニ佐賀〕
- ・空き家対策に関する意見交換会〔平成30年2月5日：県庁 県建築住宅課〕
- ・鳥栖市空き家等対策協定締結〔平成30年2月26日：鳥栖市役所 鳥栖市〕
- ・公共建築物木材利用技術セミナー開催業務委託（佐賀県）
- ・佐賀市景観形成啓発事業支援業務委託（佐賀市）
- ・一級、二級、木造建築士試験業務委託（建築技術教育普及センター）
- ・一級建築士登録等事務の業務委託（日本建築士会連合会）
- ・建築甲子園（日本建築士会連合会）
- ・住宅建築技術高度化・展開推進事業（佐賀県建設技術支援機構）
- ・高校生設計競技（佐賀の木・家・まちづくり協議会）
- ・佐賀の木・家、リニューアル・まちづくり賞（佐賀の木・家・まちづくり協議会）
- ・唐津くんち曳山保存修理設計管理業務委託（唐津神社）
- ・建築士定期講習実施等業務委託（日本建築士会連合会）
- ・大手口佐志線（3工区）地方特定街路整備委託〔建物調査〕（唐津土木事務所）

- ・ 建築パトロール業務(佐賀市)
- ・ 監理技術者講習会(日本建築士会連合会)
- ・ 二級・木造建築士携帯型免許証明書作成業務(日本建築士会連合会)
- ・ 住宅・建築物耐震化普及啓発事業耐震化伝道師養成・派遣業務委託(佐賀県)
- ・ 既存住宅状況調査技術者講習会(日本建築士会連合会)

★事業遂行の効果

- ・ 知事との懇談会を含め行政との連携や鳥栖市との空き家等対策協定締結を行った。
また、関係団体と連携するとともに、平成 29 年度受託事業は全て完了した。

(2) 一級・二級・木造建築士試験業務の受託 業務

★事業遂行の取り組み

- ・ 一級 学科 平成 29 年 7 月 23 日
 受験者 106 名 (14 名合格)
 製図 平成 29 年 10 月 8 日
 受験者 30 名 (12 名合格)
- ・ 木造 学科 平成 29 年 7 月 23 日
 受験者 なし
 製図 平成 29 年 10 月 8 日
 受験者 なし
- ・ 二級 学科 平成 29 年 7 月 2 日
 受験者 118 名 (34 名合格)
 製図 平成 29 年 9 月 10 日
 受験者 48 名 (28 名合格)

★事業遂行の効果

一級・二級・木造試験を業務受託することで、建築士会の醸成と P R に繋がった。

(3) 違反建築防止週間への協力

★事業遂行の取り組み

違反建築防止週間(平成 29 年 10 月 15 日～10 月 21 日)に佐賀市と連携し、公開建築パトロールを 10 月 16 日に実施した。

協力参加人員 3 名

★事業遂行の効果

佐賀市内を 3 箇所に分割して、公開建築パトロールを実施し、違反建築の防止、工事現場における確認表示の徹底、適切な工事監理の指導ができた。

(4) 「佐賀県安全住まいづくりサポートセンター」事業への協力

★事業遂行の取り組み

佐賀県安全住まいづくりサポートセンターは、住宅の安全な住まいづくりについて啓発、相談、指導を行い、健康で安心な環境整備の推進を図っている。

平成 29 年度は、(一社)佐賀県建築士事務所協会が担当で対応した。

★事業遂行の効果

佐賀県における住宅の安全な住まいづくりについて啓発、相談、指導を通じて、県民にわかりやすく住宅に関する情報を提供することにより、県内の住環境のバリアフリー化や耐震化等を誘導してきた。

平成 29 年度は（一社）佐賀県建築士事務所協会に対応した。

(5) 佐賀の木・家・まちづくり協議会への協力

★事業遂行の取り組み

県下工業高校建築設計競技大会、佐賀の木・家、リニューアル・まちづくり賞の 2 事業に取り組んだ。

★事業遂行の効果

- ・建築を学ぶ高校生へ木造住宅の設計を通して、建築への関心や醸成を育むことができた。
- ・佐賀の地域性や市街地の環境・景観に配慮した快適な建築・空間づくりや魅力あるまちづくりを行った建築物を表彰した。

(6) 「佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の運営及び活動推進

★事業遂行の取り組み

- ・第 1 回佐賀県ヘリテージマネージャー協議会の開催

日 時：平成 29 年 6 月 17 日（土）

場 所：旧知事公舎

対象者：建築士及び士会会員

- ・まちづくり地域貢献活動委員会及びヘリテージマネージャー協議会において岡田三郎助アトリエ復原工事見学会を行なった。

★事業遂行の効果

- ・旧知事公舎の保存と活用策について意見交換を行った。参加者：15 名
- ・岡田三郎助のアトリエが県立博物館横に復原移築されたのを機に、明治 41 年頃に建設された、木造の洋風建築を県の担当者や施工者の解説を交えて見学会を実施した。平成 30 年 2 月 24 日（土）見学者 24 名

(7) 危機管理対策部会の設置及び運営

★事業遂行の取り組み

「危機管理対策部会」

開催日時：平成 30 年 2 月 23 日（金）16：00～19：30 参加者 10 名

行政担当課と災害担当者及び応急危険度判定士との意見交換を行う中で、何時起こるか分からない震災に対する対応を検討した。

また、震災時の行政との連携や協定を模索した。

★事業遂行の効果

行政との活発な意見交換や会員同士の連携が図れた。

(8) 建築士を目指す高校生を対象としたコンペ「建築甲子園」の参加推進

★事業遂行の取り組み

平成 29 年 4 月から 10 月まで募集を行った。(公益社団法人日本建築士会連合会主催) 県内 2 校の 2 作品の応募、審査員の厳正な審査の結果、唐津工業高校の『唐津に生きる～唐津京町商店街「京や」の物語』を県代表として選考し、公益社団法人日本建築士会連合会に推薦した。

★事業遂行の効果

建築甲子園の応募校は 2 校であったが、建築士を目指す高校生への涵養が図れた。また、応募作品が奨励賞を受賞した。

報告事項（3）

平成30年5月31日

佐賀県知事

山口 祥義殿

法人の名称 一般社団法人佐賀県建築士会

代表者の氏名 中野 昭則

公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、別紙のとおり 平成29 年度（平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで）の公益目的支出計画実施報告書等を提出いたします。

【別紙1:法人の基本情報】

法人コード	A014752
法人名	一般社団法人佐賀県建築士会

1. 基本情報

フリガナ		イッパンシャダンホウジンサガケンケンチクシカイ		
法人の名称		一般社団法人佐賀県建築士会		
主たる事務所の住所及び連絡先	住所	〒8400041佐賀県佐賀市城内2丁目2番37号		
	代表電話番号	0952-26-2198(内線) FAX番号0952-26-2248		
	代表メールアドレス	LEE07657@nifty.ne.jp		
	ホームページアドレス	http://kshikai-saga.o.oo7.jp/		
代表者の氏名		中野 昭則		
事業年度		04月01日～03月31日		
担当者注	氏名(又は名称)	中野 昭則	役職(又は担当者名)	会長
	電話番号	0952-26-2198	FAX番号	0952-26-2248
	電子メールアドレス	LEE07657@nifty.ne.jp		
事業の概要		本会は、建築士の品位の保持及びその業務の進歩改善を図り、会員相互の和親協力等を講じ、もって公共の福祉、地域社会の健全な発展と建築文化の振興に寄与することを目的とする。		

注：代理人による提出の場合は委任状を添付し、代理人が法人の場合は「氏名」の欄に名称を、「役職」欄に担当者名を記載してください。

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【平成29 年度(2017/4/1 から 2018/3/31 までの概要】

1. 公益目的財産額	19,518,265円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3))	9,995,677円
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	6,949,454円
(2)当該事業年度の公益目的支出の額	8,416,633円
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	5,370,410円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	9,522,588円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1)計画上の完了見込み	平成37年3月31日
	(2)(1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	19,518,265円	19,518,265円	19,518,265円	19,518,265円	19,518,265円
公益目的収支差額	6,800,244円	6,949,454円	8,500,305円	9,995,677円	10,200,366円
公益目的支出の額	10,424,061円	9,824,885円	10,424,061円	8,416,633円	10,424,061円
実施事業収入の額	8,724,000円	6,684,558円	8,724,000円	5,370,410円	8,724,000円
公益目的財産残額	12,718,021円	12,568,811円	11,017,960円	9,522,588円	9,317,899円

注:前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継1	地域社会の健全な発展と建築文化の振興に寄与することを目的とする事業

(1)計画記載事項

事業の概要
当該事業は下記により構成される。 (1)建築士及び建築関連人材の教育事業 (ア)委託を受けて行う講習会等事業 (イ)その他の講習会等事業 (2)地域の活性化を図る事業 (ア)県下工業高校等設計競技 (イ)建築甲子園 (ウ)講習会、研修会事業 (エ)各地区単位でのイベント活動 【事業の内容】 (1)建築士及び建築関連人材の教育事業 (ア)委託を受けて行う講習会等事業 (目的)平成18年12月20日に公布された新建築士法では、建築士事務所に属する建築士は、3年ごとの建築士定期講習が義務付けられます。また、本事業は建築士の技能の向上を図り、建築士としての品位の保持及び資質の向上を図ることで、建築主の利益の保護を支援するものである。しかし、登録講習機関である(公財)建築技術教育普及センターでは各都道府県単位での実地講習会の開催が担保できないため、公益社団法人日本建築士会連合会が各都道府県での実地講習会の実施を担保するために委託を受けている。 ※登録講習機関は、国土交通大臣に講習の実施に関する事務を行おうとする旨の申請を行い、建築士法で定めた基準のすべてに適合していると認められ登録された者により実施できることとされている登録機関。 (内容) 建築技術に関する講習を開催し、技能等の習得の度合いを確認するために終了審査を実施する業務を行っている。具体的には、講習会の告知(基本計画書の作成、講習実施計画書の作成、講習案内の作成配布、ポスターの作成配布)や講習会の申し込みの受付、講習会の実施(会場の確保、講師の推薦、講義の実施)を行っている。また当該事業は、一般社団法人佐賀県建築士事務所協会と1年毎に交互に実施している。 (当該事業が継続事業に該当すると判断した理由) 登録講習機関である(公財)建築技術教育普及センターでは各都道府県単位での実地講習会の開催が担保できないため、公益社団法人日本建築士会連合会が各都道府県での実地講習会の実施を担保するために委託を受けているため、実質的に隣りに近い契約と考える。また、講師の選出は各都道府県の建築士会が選出をできるようになっていること、基本的に(株)日建学院はDVD講習であるのに対し、(公財)建築技術教育普及センターは対面講習での実施が仕様となっている。(対面講習には人対人で直接教えるため、学習者の修得度などが詳しくわかるため、理解度に応じて柔軟な対応ができるようにしている。)他には、2回目以降の受講対象者へ「プレ印字版申込書」(※前回受講時の受講者情報が既に記載されている申込書、記入の手間が省ける)を送付しており、未受講者が出ないように努力していることなど、本会としても参加者の技能を高め、公益性を高めるために努めている。 (対象者) 県内の建築士事務所に所属する建築士および所属することを予定する建築士。建築物の設計に関する業務等に従事した者、管理建築士になることを予定する者。建築士事務所に所属する建築士及び建築および防災関係の行政職員。(会員以外も含む) ※管理建築士:建築士事務所を管理する建築士 (財源) 委託金収入(公益社団法人日本建築士会連合会) (平成23年度実績) ・平成23年6月29日 佐賀市文化会館 参加者152名 委託金1,032,612円 内容(テーマ):建築物の建築に関する法令に関する科目など 講師:土木事務所建築課職員、武雄市土木事務所管理課職員等 受講料:15,750円 ※受講料は、直接、(財)建築技術教育普及センターに支払われる。 ・平成24年1月31日 佐賀市文化会館 参加者165名 委託金1,134,515円 内容(テーマ):建築物の建築に関する法令に関する科目など 講師:土木事務所建築課職員、武雄市土木事務所管理課職員等 受講料:15,750円 ※受講料は、直接、(財)建築技術教育普及センターに支払われる。 (1)建築士及び建築関連人材の教育事業 (イ)その他の講習会等事業 (目的) 当該事業は建築士の技能の向上を図り、建築士としての品位の保持及び資質の向上を図ることで、建築主の利益の保護を支援するものである。 (内容) 建築基準法及び建築士法並びに建築に必要な知識、技能の向上を図るための建築技術に関する講習を実施している。 (対象者) 県内の建築士事務所に所属する建築士および所属することを予定する建築士。建築物の設計に関する業務等に従事した者、管理建築士になることを予定する者。建築士事務所に所属する建築士及び建築および防災関係の行政職員。(会員外も含む) (財源) 受講料収入

(平成23年度実績)

・「建築確認手続き等の運用改善及び規制改革等の要請への対応」講習会

日時:平成23年5月18日(佐賀市民会館)

受講者:158名(内、非会員11名)

内容(テーマ):建築確認手続の流れの説明など

講師:(株)渋谷建築設計事務所

参加料:会員3,000円 非会員4,000円

・すべての建築士のための総合研修

日時:平成23年10月6日(佐賀市文化会館)

受講者:136名(内、非会員不明)

内容(テーマ):戸建住宅の設計から維持管理の進め方など

講師:(株)アルセツド建築研究所、佐賀県地球温暖化対策室他

参加料:会員12,000円 非会員18,000円

・「建築確認申請マニュアル2011」講習会

日時:平成23年12月13日(佐賀市文化会館)

受講者:110名(内、非会員不明)

内容(テーマ):申請内容の説明など

講師:佐賀県建築住宅課職員

参加料:会員10,000円 非会員15,000円

(2)地域の活性化を図る事業

(ア)県下工業高校等設計競技

(目的)

将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校・高等学校の生徒を対象に、研究・創作活動に携わる大会を通じて、創造する喜びや発想力の向上を図るとともに、将来信頼される技術者として技術や知識・倫理観等を育むことを目的としている。

(内容)

当該事業は、建築教育課程のある工業高校・高等学校を対象に各テーマに基づいた、図面・スケッチによる表現や文章記述による表現を審査し、優秀作品の表彰を行う事業である。

(参加対象者)

建築教育課程のある工業高校等

(選考方法)

・審査委員

九州大学大学院教授(現九州大学名誉教授)、佐賀県県土づくり本部建築住宅課職員、佐賀県建設業協会建築委員長、佐賀県建築士事務所協会会長、佐賀県建築士会会長を含む5名により審査を行う。

・選考基準

テーマに対する理解度、提案度、表現力を総合的に評価する。

・最終決定の方法

審査委員全員の合議により決定する。また、直接の利害関係者の排除として、用紙や図面等には学校名や氏名等の応募者が特定できるような表示は排除している。

(財源)

委託金収入(佐賀の木・家・まちづくり協議会)

(当該事業が継続事業に該当すると判断した理由)

当該事業は、「佐賀の木・家・まちづくり協議会」からの委託事業であるが、委託内容は、委託期間や実施概要といった最低限の条件が提示されるだけで、事業内容(テーマ、作品の募集方法、選考方法など)の詳細は本会が決定しており、事業の公益性を高めるため利害関係者の排除や多くの対象校へ参加を呼び掛ける等して工夫していることから、継続事業になると考える。

(平成23年度実績)

・第19回県下工業高校建築学科設計競技

設計課題:「わが町の公民館」

応募校:佐賀工業高校、鳥栖工業高校、唐津工業高校

応募作品数:115点

委託金:350,000円

入賞者:1校(佐賀工業高校)

(2)地域の活性化を図る事業

(イ)建築甲子園

(目的)

将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校・高等学校の生徒を対象に、研究・創作活動に携わる大会を通じて、創造する喜びや発想力の向上を図るとともに、将来信頼される技術者として技術や知識・倫理観等を育むことを目的としている。

(内容)

当該事業は、建築教育課程のある工業高校・高等学校を対象に各テーマに基づいた、図面・スケッチによる表現や文章記述による表現を審査し、優秀作品の表彰を行う事業であり、公益社団法人日本建築士会連合会と全国都道府県の建築士会の主催により実施している。応募された作品は、まず、各都道府県単位で実施する県大会予選で審査を行い、県大会予選で選抜された作品が全国選手権大会に提出されている。本会では、当該事業の佐賀県大会予選(佐賀県における作品募集、応募作品の審査など)を担当、実施している。

(参加対象者)

建築教育課程のある工業高校等

(選考方法)

・審査委員

佐賀県県土づくり本部建築住宅課職員、佐賀県建築士会会長を含む5名により審査を行う。

・選考基準

テーマに対する理解度、提案度、表現力を総合的に評価する。

・最終決定の方法

審査委員全員の合議により決定する。また、直接の利害関係者の排除として、用紙や図面等には学校名や氏名等の応募者が特定できるような表示は排除している。

(財源)
特定の財源なし

(平成23年度実績)
設計課題:「地域の暮らし」
応募校:佐賀工業高校、唐津工業高校
応募作品数:2点
(全国大会へ1点)

(2)地域の活性化を図る事業
(ウ)講習会、研修会事業

(目的)
県内市町における居住者に地域の景観を再度認識・学習してもらい、各市町の特性を生かした地域の景観づくりを行うことが、地域住民に潤いと安らぎを与え、豊かな県民生活と文化の向上に寄与すると考えている。

(概要)
継続的に地域の景観づくりに取り組む人材を養成するため、研修会や情報提供を行い、地域の景観づくりの推進を行っている。

(内容)
・参加者募集及び募集チラシの作成
・ワークショップ(※1)の企画・運営
※1一方通行的な知や技術の伝達でなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイルとして定義されている。

(事業の対象者)
地域の景観まちづくりに関心を持つ市民

(財源)
委託金収入(佐賀県県土づくり本部まちづくり推進課、佐賀市建設部都市デザイン課)

(当該事業が継続事業に該当すると判断した理由)
当該事業は、景観整備機構として指定された団体に委託される事業であり、本会は、景観法に基づき指定された佐賀県唯一の団体である。また、佐賀県から当該事業内容の基本的な枠組みのみ示され、具体的にどのような事業を実施するかは、法人の知識、経験等の人的資源等を活用し、法人が創意工夫し、企画立案から事業実施まで行っている。例えば、仕様書では、「地域の景観づくりの先導的な役割を担い、かつ、地域において継続的に景観づくりに取り組む景観まちづくりリーダーを養成すること」と示され、この目的を達成するために、勉強会などを実施しているため継続事業に該当すると考える。

(平成23年度実績)
内容:ワークショップの企画・運営等
テーマ:「景観まちづくりリーダー養成ワークショップ」—おぎの街中お宝景観探し!—
講師:後藤隆太郎(佐賀大学准教授)
参加者:43名
委託金:588,000円
参加料:無料

(2)地域の活性化を図る事業
(エ)各地区単位でのイベント活動

(目的)
県内市町における居住者を対象に建築関連のイベントを行い、地域住民に潤いと安らぎを与え、豊かな県民生活と文化の向上に寄与すると考えている。

(内容)
本会の会員が7月1日(建築士の日)に合わせて、住宅相談会や工作、清掃活動、研修会等を開催している。

(事業の対象者)
一般の方

(財源)
受取助成金(公益社団法人日本建築士会連合会)

(平成23年度実績)
公益社団法人日本建築士連合会より助成金200,000円
・伊万里地区 親子工作教室(エコグッズの作成)参加料:無料
・鹿島地区 高校生と合同研修会(保存工事完了の住宅商会)参加料:無料
・佐賀地区 清掃活動(空き缶・ゴミ拾い)参加料:無料

(1)当該事業に係る公益目的支出の見込額	10,424,061円
(2)当該事業に係る実施事業収入の見込額	8,724,000円

(2)当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

別紙のとおり

(1)当該事業に係る公益目的支出の額	8,416,633円
(2)当該事業に係る実施事業収入の額	5,370,410円
(3)((1)-(2))の額	3,046,223円
(4)当該事業に係る損益計算書の費用の額	8,416,633円
(5)当該事業に係る損益計算書の収益の額	5,370,410円
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 注	

注:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

(3)実施事業資産の状況等

番号 注	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に取得した 場合の取得価額	前事業年度末日の 帳簿価額	当該事業年度末日の 帳簿価額	使用の状況
	該当なし	円	円	円	円	

注:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・a1・など)を記載してください。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

(事業単位ごとに作成してください。)

【実施事業(継続事業)の状況等】

事業番号	事業の内容
継1	地域社会の健全な発展と建築文化の振興に寄与することを目的とする事業

【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の収益の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の 収益の額	(2)実施事業収入 の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注	
受講料	205,000円	205,000円	建築士及び建築関連人材の教育事業における、講習会事業の受講収入であり、全額実施事業収入である。	
委託金収入	4,763,790円	4,763,790円	委託を受けて行う講習会等事業、県下工業高校等設計競技及び講習会、研修会事業の委託金収入であり、全額実施事業収入である。	
受取民間助成金	200,000円	200,000円	各地区単位でのイベント活動、講習会に対する助成金であり、全額実施事業収入である。	
雑収益	201,620円	201,620円	建築士及び建築関連人材の教育事業における、講習会事業の雑収益であり、全額実施事業収入である。	
計	5,370,410円	5,370,410円		

注:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の 費用の額	(2)公益目的支出 の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注	
その他	8,416,633円	8,416,633円	異なる費用科目がないため(1)(2)は同額である。	
計	8,416,633円	8,416,633円		

注:(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を(1)及び(2)欄に記載してもかまいません。

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 注1
該当なし

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨入力してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 注2
該当なし

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。
また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨入力してください。

別表B〔公益目的支出計画実施報告書〕

【引当金等の明細】

(1)実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称		目的		事業番号	
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
0	該当なし		-		-	
	-円	-円	-円	-円	0円	

(2)(1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称		目的			
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
0	該当なし		-			
	-円	-円	-円	-円	0円	

(3)「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたもの 注

番号	財産の名称		目的			
	期首の価額	当期増加額	当期減少額		期末の価額	
			目的使用	その他		
0	該当なし					
	-円	-円	-円	-円	0円	

注:算定日において、退職給付会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合については、当該未処理額は記載不要です。なお特に記載すべき内容がない場合は空欄のまま「登録」ボタンをクリックしてください。

報告事項（４）

平成３０年度事業実施計画

建築士の資質の維持・向上に取り組み、建築士会の財政健全化に努めるとともに、公共に資する活動を掲げ、建築士の社会的地位の向上と建築文化の振興を進める事業を以下のとおりとする。

事業名

１ 組織に関する事業

（１） 組織の強化に関する事業

- ① 会員増強
- ② 青年建築士、女性建築士の組織の強化
- ③ 賛助会員の拡大
- ④ 各地区事務担当者会議

（２） 新公益法人会計基準への適格な対応

（３） 会員相互の親睦推進

２ 建築士制度等に関わる事業

（１） 建築士法改正関連の政省令への対応

（２） 建築士の登録・閲覧等事務の適正、円滑な実施

※日本建築士連合会へ免許証明書作成依頼

※建築行政情報センターへデータ管理委託

（３） 専攻建築士制度の普及・定着化及び社会的活用の推進

（４） 建築士免許証明書等の提示義務化によるカードの作成業務推進

３ 継続能力開発（ＣＰＤ）に関わる事業

（１） 全建築士を対象とした継続能力開発の推進

（２） 行政及び他団体との協力体制の確立

４ 建築士の資質向上

（１） 建築士に課せられる定期講習会の開催

（２） 法制度改正に伴う講習会の開催

（３） 建築士を対象とした技術等講習会、後援会の開催

（４） 建築施工従事者の「監理技術者講習会」開催

（５） 会員の「既存住宅状況調査技術者講習」開催

５ 表彰

（１） 国家褒章、国土交通大臣表彰、知事表彰、連合会表彰

（２） 士会、功労者及び永年会員表彰

6 広報、情報に関する事業

- (1) 連合会、情報ネットワークの活用
インターネットのホームページの更新と情報、広報の提供
- (2) 会報誌の発行（ホームページ掲載）
- (3) 会員名簿の発行（各地区へCD ファイル配布）

7 会員の活動に関する事業

- (1) 建築士集会への参加
・「全国大会」埼玉大会 10/26
・「九州ブロック建築士の集い」熊本大会 6/23
- (2) ドライクリーニング工場に対する実態調査への対応
- (3) 青年建築士、女性建築士の事業の推進
- (4) まちづくり情報交流等の推進 —— 九州まちづくり塾開催
- (5) 見学会及び研修会の開催
- (6) 建築士の日「7月1日」行事の推進
- (7) 佐賀の建物研究（価値ある建物の調査の保存と記録）
- (8) 地区事業に対する協賛及び助成
- (9) 建築士賠償責任保険制度のPR
- (10) 建築士工事賠償責任制度のPR
- (11) 住宅瑕疵担保履行制度のPR
- (12) 地域貢献活動センターの事業推進
- (13) 景観整備機構活動の事業推進
- (14) 佐賀市クリーク保全利活用推進事業
- (15) 耐震伝道師の事業推進
- (16) 拡大協議会の開催

8 行政、関係団体との協力事業

- (1) 国及び地方公共団体、関係団体への協力及び事業の受託業務の推進
- (2) 1級・2級・木造建築士試験業務の受託業務
- (3) 違反建築防止週間への協力
- (4) 「佐賀県安全住まいづくりサポートセンター」事業への協力
- (5) 空家等対策協議会への協力
- (6) 佐賀の木・家・まちづくり協議会への協力
 - ① 住宅月間事業への協力
 - ② 地域住宅事業への協力
 - ③ 県下工業高等学校設計競技の実施
 - ④ 佐賀の木・家・まちづくり賞受賞施設見学会
- (7) 「佐賀県ヘリテージマネージャー協議会」の運営及び活動推進
- (8) 危機管理対策部会の設置及び運営
- (9) 建築士を目指す高校生を対象としたコンペ「建築甲子園」の参加推進

報告事項(5)

一般社団法人 佐賀県建築士会

収 支 予 算 書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	90,000	90,000	0
正会員受取会費	12,528,000	12,499,200	28,800
準会員受取会費	480,000	480,000	0
賛助会員受取会費	730,000	670,000	60,000
支部賛助受取会費	34,800	34,800	0
事業収益	2,459,700	1,631,550	828,150
受講料	2,366,800	3,137,500	△770,700
委託金収入	7,086,320	12,649,643	△5,563,323
事務手数料収入	805,416	739,240	66,176
受取民間助成金	100,000	100,000	0
雑収益	926,980	126,980	800,000
経常収益計	27,608,016	32,158,913	△4,550,897
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	5,558,324	4,373,600	1,184,724
福利厚生費	871,494	778,454	93,040
臨時雇賃金	245,000	265,000	△20,000
広告宣伝費	60,779	49,700	11,079
旅費交通費	1,205,022	804,500	400,522
通信運搬費	585,309	403,841	181,468
租税公課	522,112	620,900	△98,788
消耗品費	768,804	615,844	152,960
リース料	584,239	477,634	106,605
新聞図書費	150,650	958,650	△808,000
食糧費	158,780	136,420	22,360
印刷製本費	238,200	368,940	△130,740
賃借料	766,203	596,986	169,217
諸謝金	1,451,000	1,400,400	50,600
委託費	1,632,000	5,565,816	△3,933,816
支払負担金	3,878,360	3,851,400	26,960
支払助成金	4,662,400	4,653,760	8,640
接待交際費	191,400	191,400	0
会議費	95,000	53,700	41,300
雑費	686,973	1,472,862	△785,889

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減
管理費			
給与手当	841,676	1,786,400	△944,724
福利厚生費	131,982	317,968	△185,986
広告宣伝費	9,221	20,300	△11,079
旅費交通費	296,760	150,520	146,240
通信運搬費	67,577	142,837	△75,260
租税公課	78,688	135,500	△56,812
消耗品費	103,716	228,676	△124,960
リース料	88,493	195,098	△106,605
食糧費	24,000	24,000	0
印刷製本費	20,000	20,000	0
賃借料	84,997	184,614	△99,617
保険料	15,350	15,350	0
接待交際費	65,000	65,000	0
会議費	1,084,448	974,168	110,280
減価償却費	21,502	90,000	△68,498
雑費	32,431	71,478	△39,047
経常費用計	27,277,890	32,061,716	△4,783,826
評価損益調整前経常増減額	330,126	97,197	232,929
特定資産評価損益等	0	0	0
固定資産評価損益	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	330,126	97,197	232,929
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	330,126	97,197	232,929

【特記事項】

1. 共通経費は配賦しております。

第2号議案

役員改選議決の件

第2号議案

役員改選

役員(理事・監事)の選出について

一般社団法人佐賀県建築士会定款第12条第1項に該当

- ・理事及び監事は、理事会の決議を経て別に定める規程により候補者を選出し、当該候補者の中から総会の決議により選任する。

一般社団法人佐賀県建築士会施行規則第8条第1項に該当

- ・理事の数は、会員名簿に記載された住所地により各市町別等に区分し、正会員数の按分に応じて、理事会において決定する。但し、県建築住宅課職員、青年委員長、女性委員長の各1名を理事とする。

平成30・31年度 佐賀県建築士会各地区選出の理事・監事候補者名簿（案）

地区名	氏 名	地区名	氏 名
佐賀東	※ 佐藤 秀樹	唐 津	※ 山田 俊明
	宮田 輝雄		平野 直人
	原口 美和		浦田 廣徳
	永石 洋幸		中江 貢
佐賀南	※ 小島 啓		中山 美和
	犬塚 敏治	伊万里	※ 松永 真治
	三原 ユキ江		福母 秀一
	手塚 靖彦		清水 耕一郎
佐賀北	※ 城島 正信		廣 忠国
	山口 美由起	武 雄	※ 松尾 英昭
	野口 淳史		藤島 広喜
	川崎 康広	杵 島	※ 川崎 英明
神 埼	※ 石松 博孝	鹿 島	※ 諸岡 孝司
鳥 栖	※ 江島 信行		馬場 泰造
	坂口 義孝	建築住宅課	武藤 秀彰
	高尾 和久	青年委員長	古賀 智博
小 城	※ 辻 正義	女性委員長	志田 尚子
多 久	※ 飯守 康洋	監 事	野口 伸守
監 事	高尾 明夫	※印 地区会長	